

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

＜第11週＞マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微減した。
しかし、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向

＜2月＞性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.10-12

＜インフルエンザ＞

第11週の全国レベルでの定点当たり報告数は30.6で、2週間連続で低下した



病原体情報
P.13-14

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン／冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン



速報
P.15-20

腸管出血性大腸菌感染症 2004年(2005年1月20日時点)／知的障害者施設におけるサポウイルスの集団発生－千葉県



海外感染症情報
P.21-22

アンゴラでのマールブルグ病流行／チャドにおける髄膜炎菌性疾患／スーダンでの髄膜炎菌感染症



感染症の話
P.23

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(11週)
P.24-30



グラフ総覧(2月)
P.31-35



2月のデータ
P.36-39



11週のデータ
P.40-51



発生動向総覧

※「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第11週コメント> 3月24日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: **細菌性赤痢** 8例(推定感染地域: 国内3例*、インドネシア1例、タイ1例、カンボジア1例、ペルー1例、イエメン1例)

*すべて、第10週に続く愛知県における施設での集団発生

腸チフス 2例(推定感染地域: ともにインド)

3類感染症: **腸管出血性大腸菌感染症** 13例(うち有症者10例)

血清型・毒素型: O26 VT1(7例*)、O157 VT1・VT2(3例)、O157 VT2(2例)、O26 VT2(1例)

年齢: 10歳未満(6例)、10代(1例)、20代(3例)、40代(1例)、50代(2例)

*うち5例は、第9・10週に報告のあった32例とともに、宮城県の保育施設での集団発生

4類感染症: **デング熱** 1例(推定感染地域: スリランカ)

マラリア 2例

熱帯熱1例(推定感染地域: パプアニューギニア)

型不明1例(推定感染地域: パプアニューギニア)

レジオネラ症 3例(50代1例、70代2例)

A型肝炎 2例(推定感染地域: ともに国内)

5類感染症: **アメーバ赤痢** 7例

推定感染地域: 国内1例、タイ/ビルマ/韓国1例、その他1例、不明4例

推定感染経路: 性的接触3例(異性間1例、同性間1例、異性間/同性間1例)、不明4例

ウイルス性肝炎 2例

[ともにB型__推定感染経路: 性的接触(異性間)1例、不明1例]

クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性)

後天性免疫不全症候群 8例(すべて無症候)

推定感染経路: すべて性的接触(異性間2例、同性間6例)

推定感染地域: すべて国内

梅毒 4例(早期顕症I期2例、早期顕症II期1例、無症候1例)

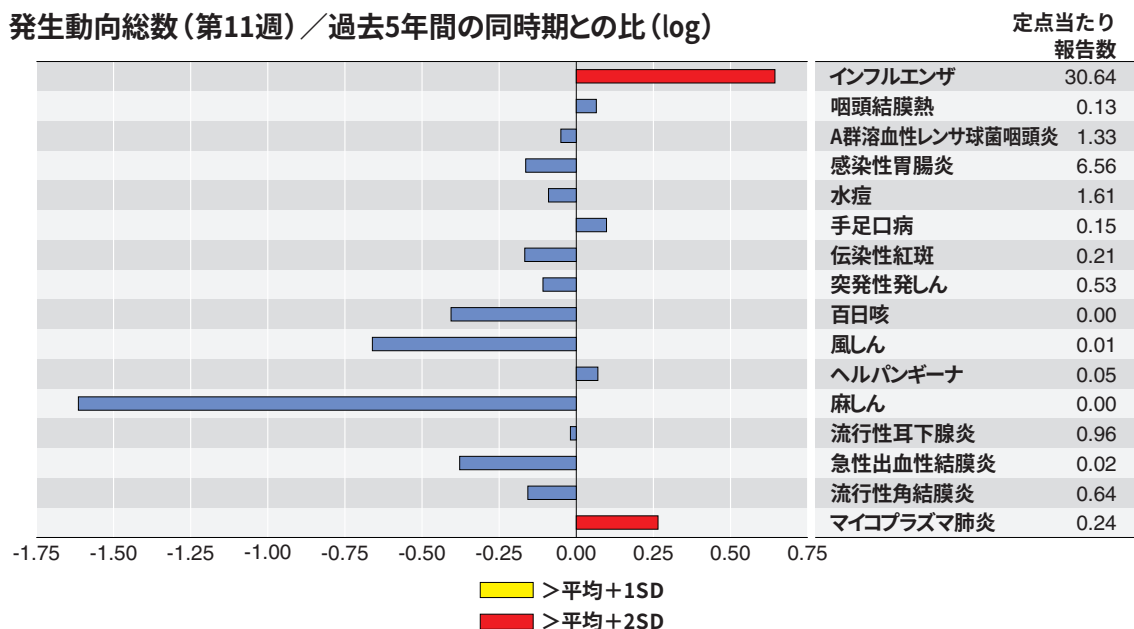
急性脳炎 2例[ともに病原体不明(50代、60代)]

(補)他に、報告遅れとしてE型肝炎1例(推定感染地域: 国内、推定感染源: 豚生レバー)、急性脳炎4例[B型インフルエンザウイルス1例(4歳)、病原体不明3例(8歳、死亡、9歳、20代)]の報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第11週)／過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

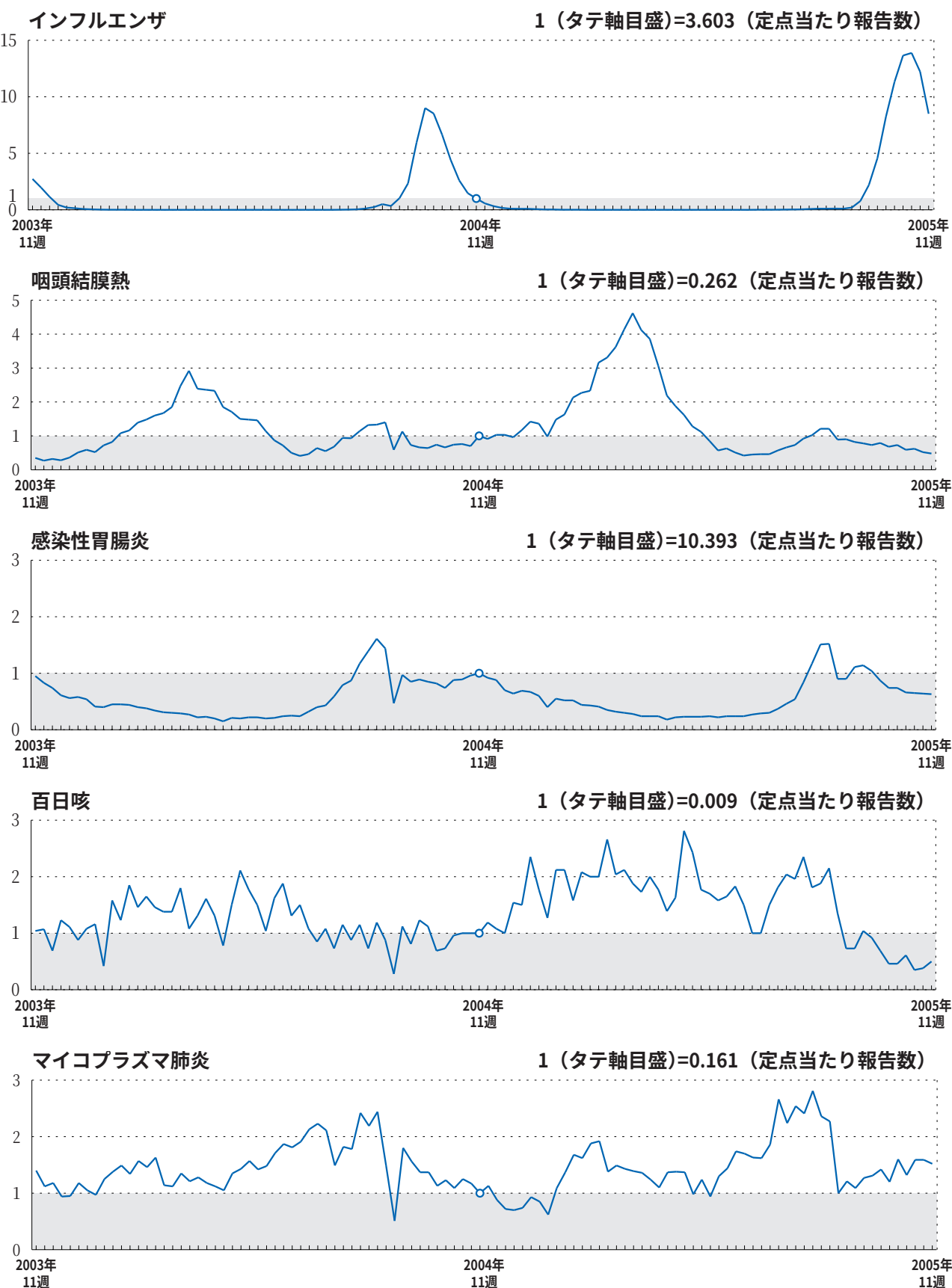
インフルエンザ定点報告疾患：定点当たり報告数は2週連続で低下しており、流行のピークは過ぎた。しかし、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態は継続している。都道府県別では秋田県(71.8)、沖縄県(69.6)、福井県(62.9)、長野県(51.3)が多い。殆どの都道府県で前週よりも報告数が減少している中で、唯一沖縄県だけが増加を示している。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週間連続で減少した。都道府県別では秋田県(0.54)、宮崎県(0.49)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(4.4)、石川県(3.1)、高知県(2.5)、北海道(2.5)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は微減したが、第3週以降減少傾向が継続している。都道府県別では宮崎県(17.4)、福井県(12.1)、山口県(11.5)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(4.9)、宮崎県(4.3)、大分県(3.3)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では徳島県(1.3)、和歌山県(1.0)が多い。**風しん**の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では埼玉県(0.03)、高知県(0.03)が多い。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では愛媛県(0.46)、佐賀県(0.35)が多い。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(6.1)、佐賀県(2.7)、福岡県(2.4)が多いが、福井県では2004年第42週以降、高値が続いている。**RSウイルス感染症**は、ゼロ報告を含めて36都道府県から48例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下が全体の71%を占めている。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微減した。しかし過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では岡山県(1.8)、群馬県(1.3)、山口県(1.2)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第11週)

2004年第11週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



〈2月コメント〉

◆性感染症について(3月14日集計分) 性感染症定点数: 920

2005年2月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.84(男1.16、女1.68)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.84(男0.34、女0.51)、尖圭コンジローマが0.49(男0.27、女0.21)、淋菌感染症が1.19(男0.97、女0.23)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べると全体に減少し、特に男性の性器クラミジア感染症と淋菌感染症は、感染症法が施行された1999年4月以降、最低の定点当たり報告数となった(31～34ページ「グラフ総覧」参照)。過去5年間の同時期と比較すると、男性では、性器クラミジア感染症が平均-2標準偏差(SD)を、淋菌感染症が平均-1SDを下回った。女性では、性器クラミジア感染症および淋菌感染症が平均-1SDを下回ったが、性器ヘルペスウイルス感染症が平均+1SDを越えた(図2)。

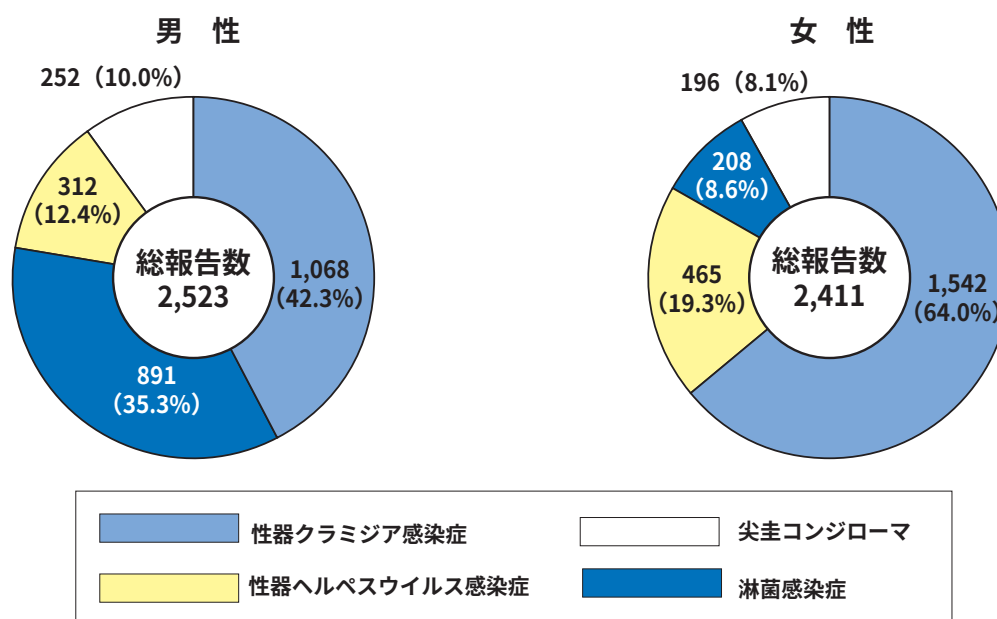
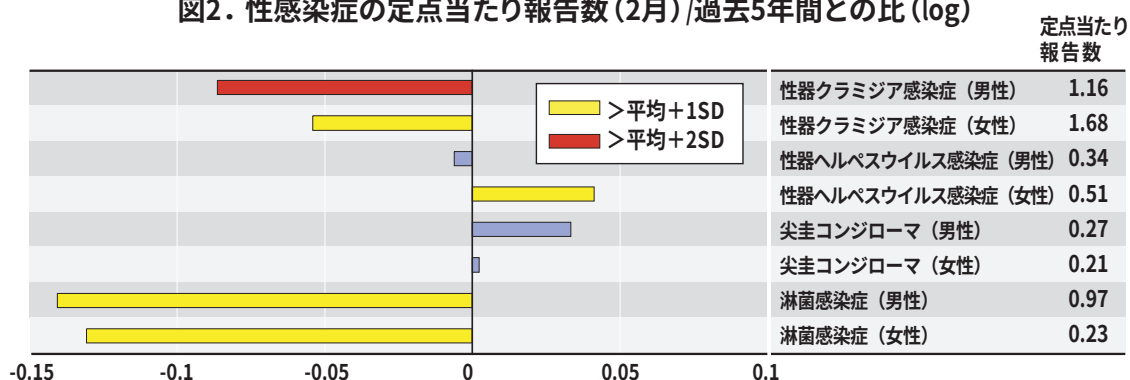


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(2月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(2月)/過去5年間との比(log)



当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると(図3)、いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少なくない。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。男女ともに、淋菌感染症および性器クラミジア感染症の減少傾向が注目される。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(2月)

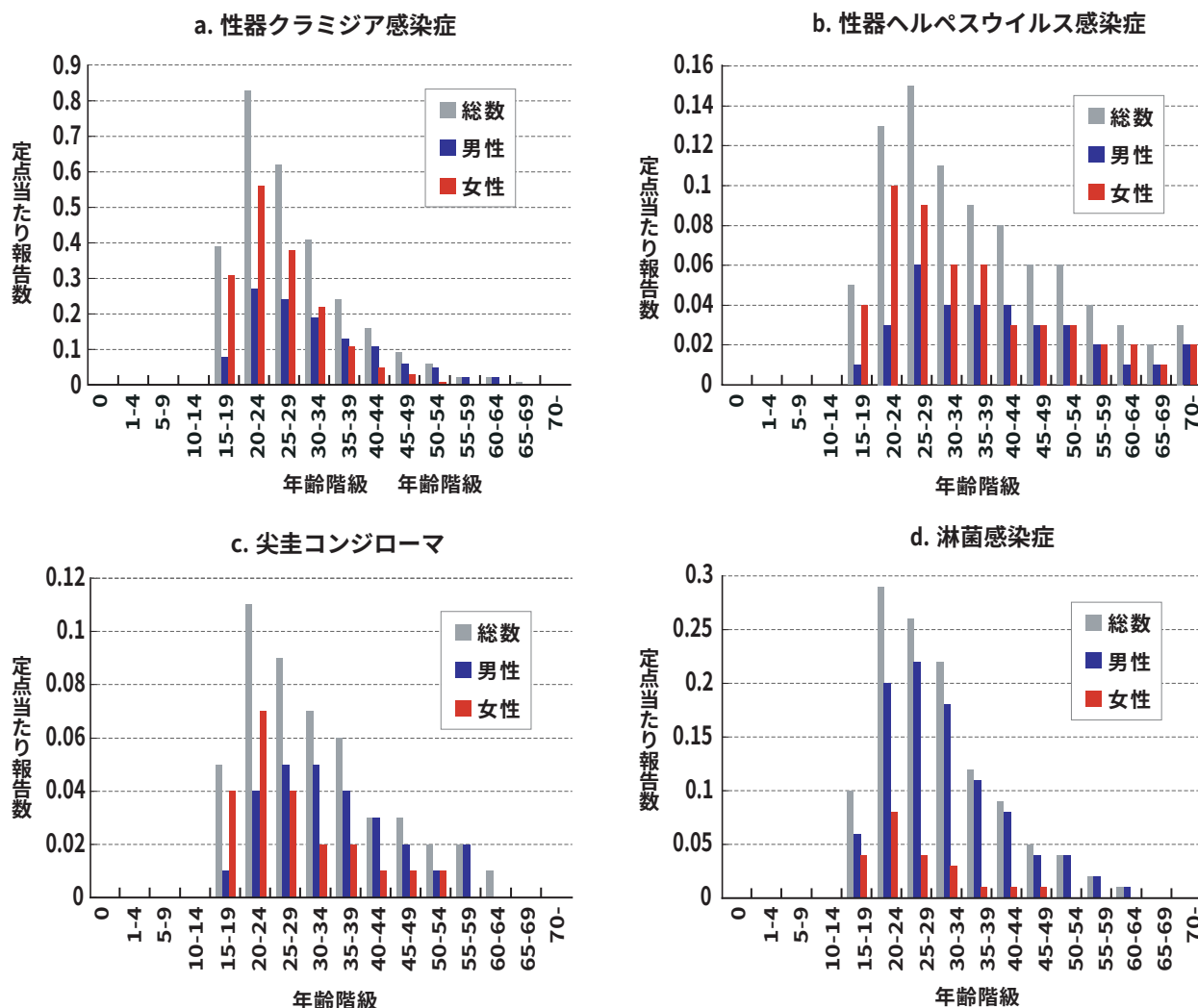
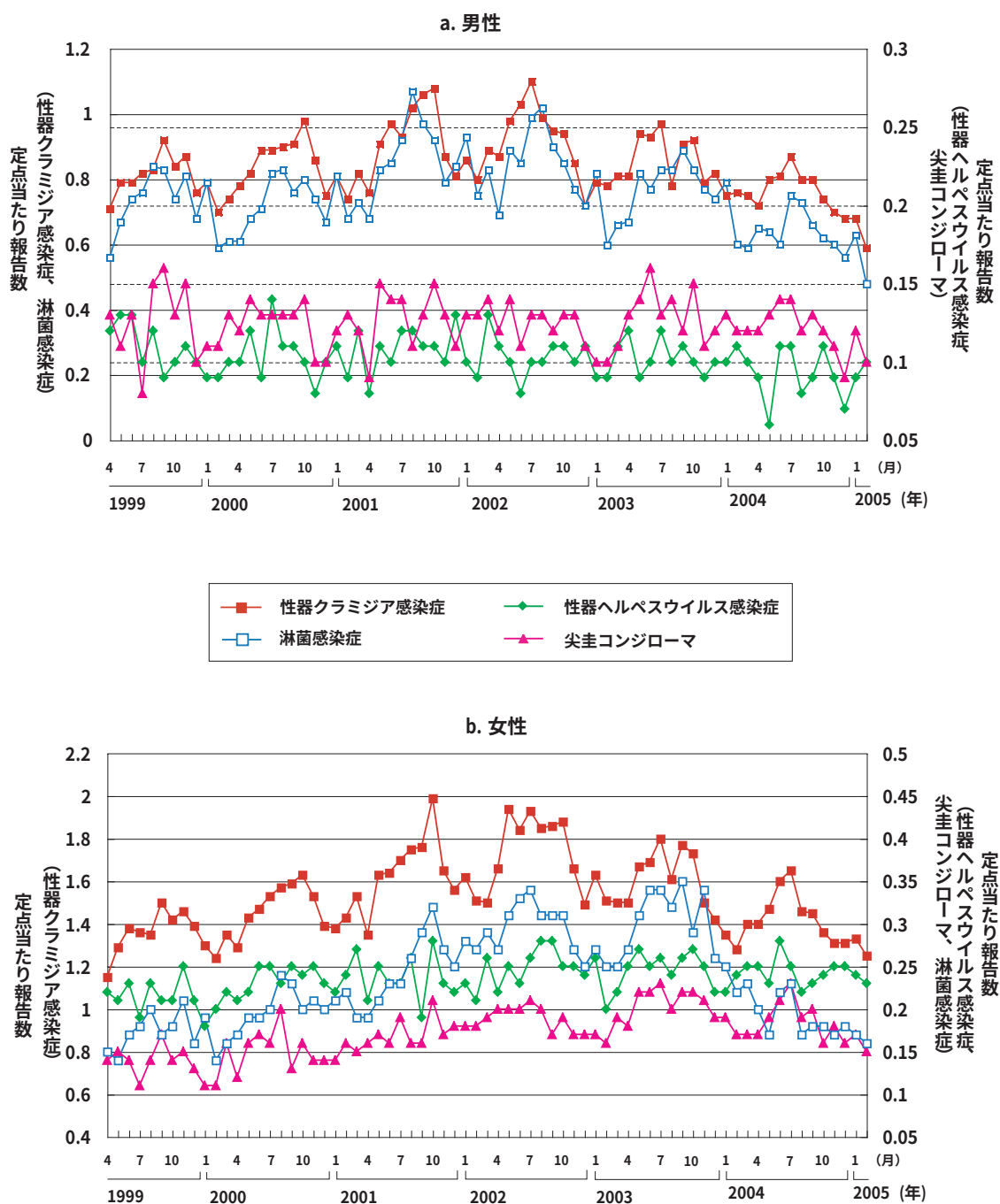


図4. 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数（15～29歳）



◆薬剤耐性菌感染症について(3月14日集計分)

2月の定点(基幹定点)総数: 470

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

3.88(前月: 4.09、前年同月: 4.02)

定点当たり報告数は、例年年間を通してほぼ一定である。2月は前月より微減し、過去5年間の同月との比較では、2004年、2003年に次いで多かった。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

1.15(前月: 1.19、前年同月: 1.40)

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多く推移しているが、2004年は1～6月の期間ほぼ同数で推移した。2月は前月とほぼ同値で、過去5年間の同月との比較では、2004年に次いで多かった。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.08(前月: 0.10、前年同月: 0.08)

定点当たり報告数は、例年年前半が後半に比してわずかに少ないが、年間を通じてほぼ一定である。2月は前月より減少し、過去5年間の同月との比較では最も少なかった。

[年齢階級別]

MRSA感染症…高齢者に多く、65歳以上が全体の73%(70歳以上が64%)を占めている(図1)。

PRSP感染症…小児に多く、10歳未満が全体の58%(5歳未満が49%)を占めている。また高齢者にも多く、65歳以上が全体の26%(70歳以上が22%)を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症…高齢者に多く、65歳以上が全体の61%(70歳以上が47%)を占めている(図3)。

[性別](女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症…1.7/1

PRSP感染症…1.4/1

薬剤耐性緑膿菌感染症…2.2/1

[都道府県別]

MRSA感染症…定点当たり報告数は高知県(8.7)、山口県(8.6)が多い。

PRSP感染症…定点当たり報告数は千葉県(9.9)、高知県(5.6)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症…定点当たり報告数は奈良県(0.5)が多い。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

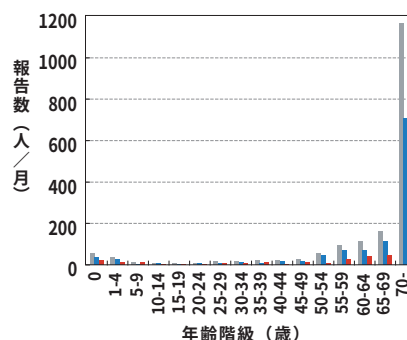


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

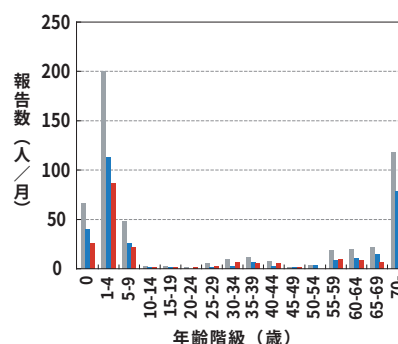
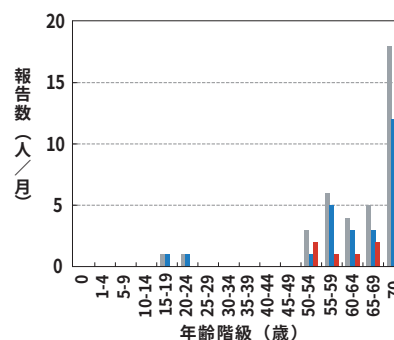


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



◆結核サーベイランス月報(3月28日集計分)

2月の新登録患者数は1,975人(男性1,301人、女性674人)で、このうち活動性肺結核患者は1,564人(うち喀痰塗抹陽性者は761人)であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(234人)、大阪府(大阪市を除く)(116人)、大阪市(111人)、埼玉県(さいたま市を除く)(89人)、千葉県(千葉市を除く)(88人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は338人であった。

*マル初者…結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。

また、2003年の結核発生動向調査年報は結核研究所ホームページ(<http://www.jata.or.jp>)でご覧ください。



注目すべき感染症

◆インフルエンザ

2005年第11週の全国定点医療機関からの報告数は143,993、定点当たり報告数は30.6で、2週間連続で低下した(図1)。定点当たり報告数が60.0を超えているのは秋田県(71.8)、沖縄県(69.6)、福井県(62.9)の3県(前週は8県)、50以上では4県(前週は22道県)で、それぞれ大幅に減少した(図2)。このように、今シーズンのインフルエンザ流行のピークは過ぎたと考えられる。第11週では、前週よりも報告数が減少したのは46都道府県(前週は36都道府県)に増えたが、唯一沖縄県が大幅な増加(第10週57.0→第11週69.6)を示している(図3)。

ピークにおける定点当たり報告数は50.0で、1997/98、1994/95年シーズンに次ぐ高い値を示したが、第1週から第11週までの累積報告数も1,285,306と、過去5年間では最高値となっている(図4)。年齢別内訳では5～9歳が最多で、次いで4歳以下であり、15歳以下が全体の約7割を占めているが、これは過去5年間と同様である。しかしながら、60歳以上の高齢者における報告数は51,146(全体の4.0%)であり、報告数、全体に占める割合ともに過去5年間では最も多い。

インフルエンザウイルスについては、今シーズンはB型の分離報告数が半数以上(約61%)を占めており(本号13ページ「病原体情報」参照)、流行の中心であった(図5)。

なお、今シーズンのインフルエンザ流行はピークは超えてはいるものの、まだ収束したわけではない。引き続きインフルエンザに対する注意が必要である。

図1. インフルエンザのシーズン別・週別発生状況(1994/95シーズン～2005年第11週)

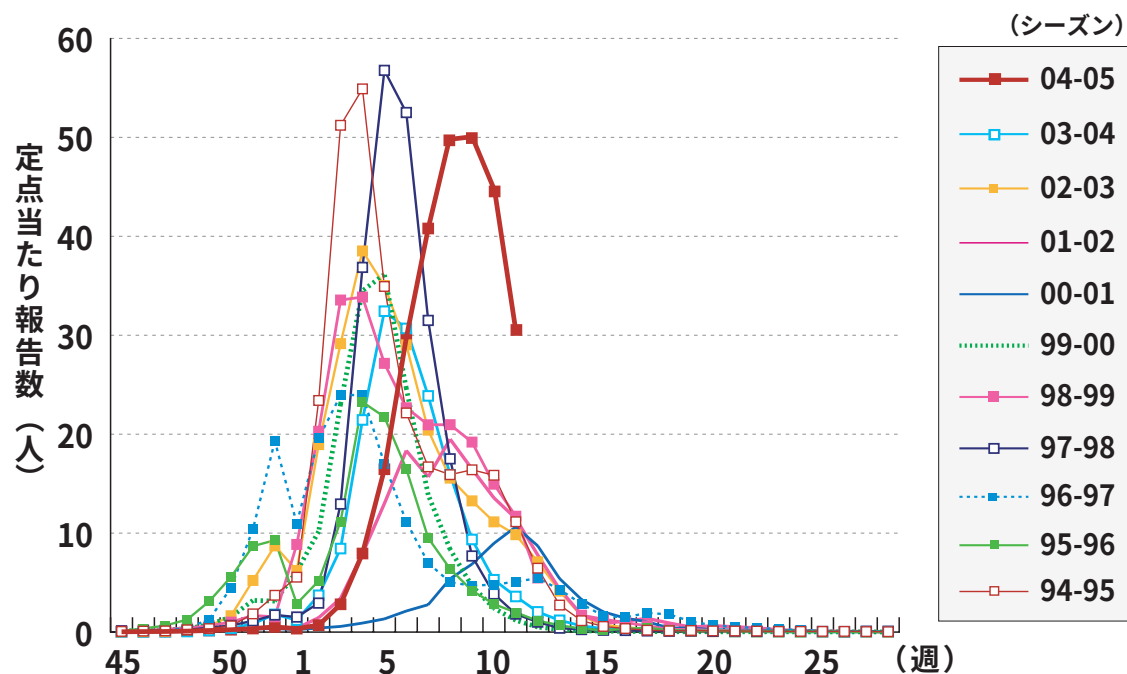


図2. インフルエンザの週別・都道府県別発生状況(第9～11週)

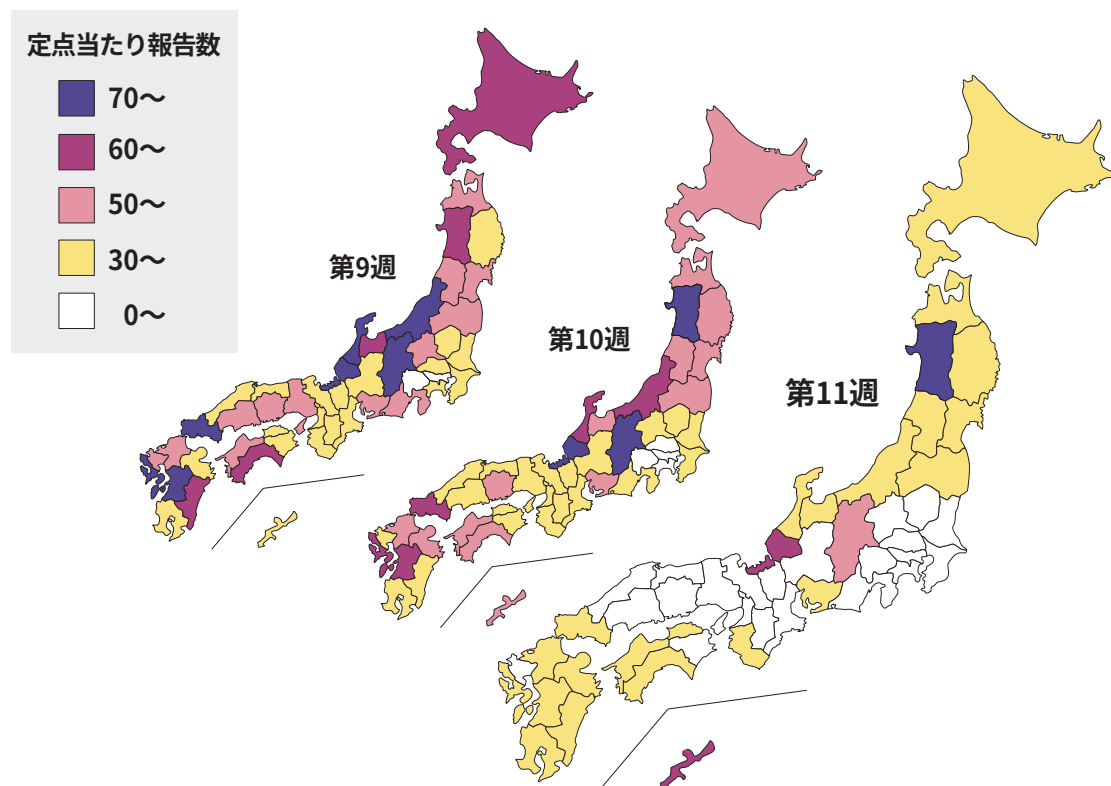


図3. インフルエンザの発生の都道府県別増減(2005年第11週)

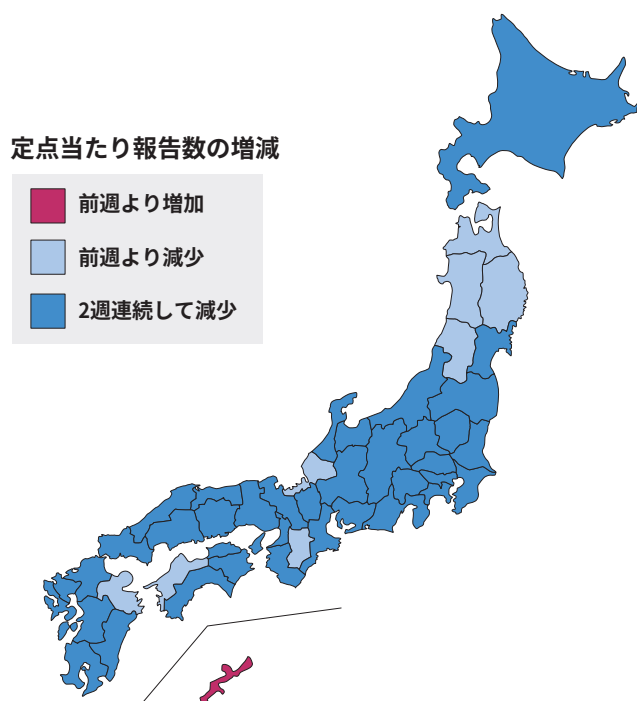


図4. 第1～11週におけるインフルエンザの年別・年齢群別発生状況

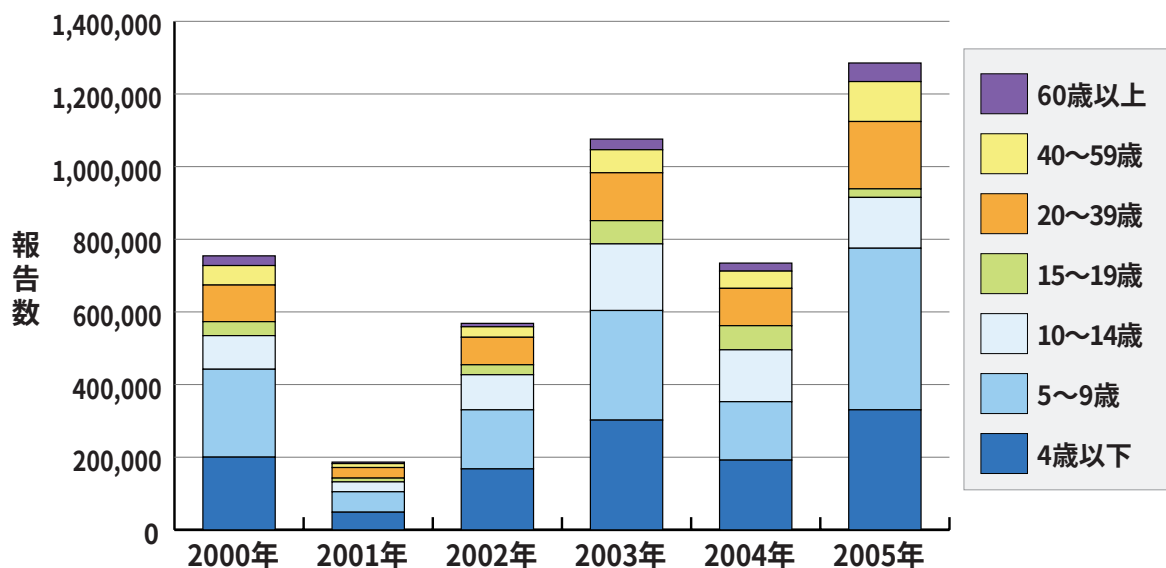
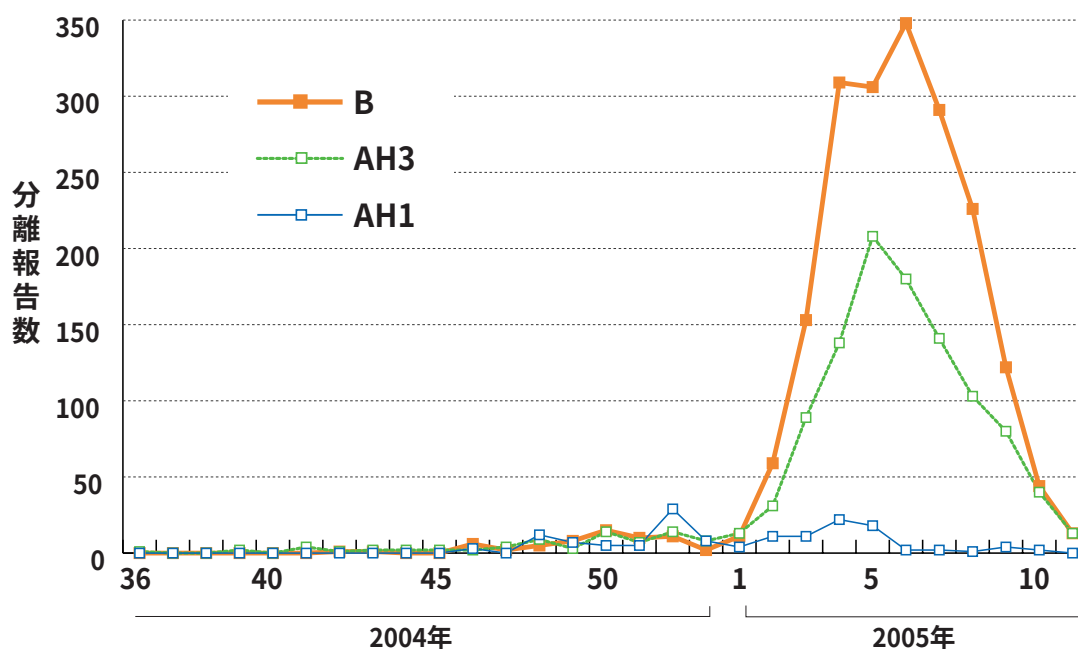


図5. インフルエンザウイルスの分離状況(2004/05シーズン、2005年第11週現在)





病原体情報

＊グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年3月25日現在報告分)

◆インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

今シーズンはB型1,959件(うち14件はPCRのみによる検出)、AH3型1,121件(うち11件はPCRのみによる検出)、AH1型146件の分離・検出が報告されている。

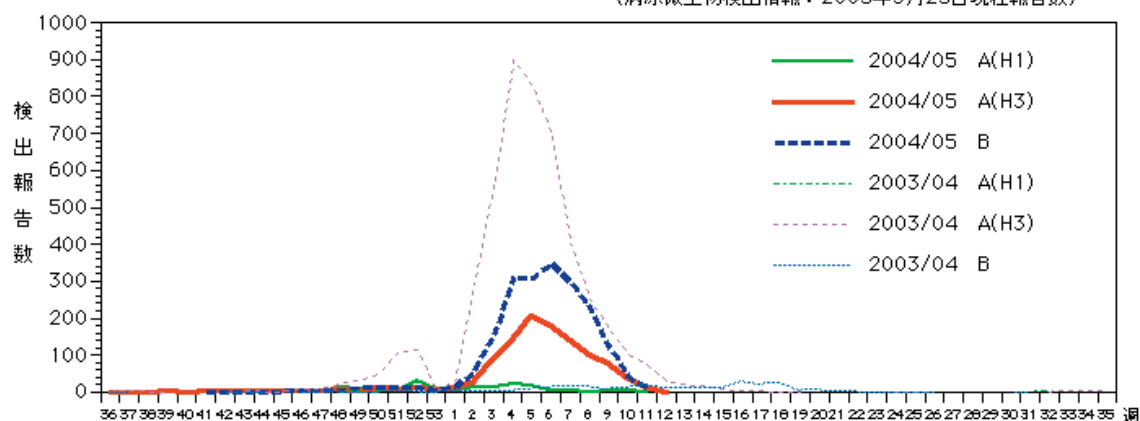
第2週以降B型の増加が目立っており、いずれの週もAH3型の報告数を上回り、今シーズンの主流となっている。第6～11週までの週別報告数は349、295、226、122、44、13である。新たに群馬県(第3週)から分離が報告され、これまでに42都道府県から報告されている。第8週以降では、北海道76、兵庫県37、石川県32、愛媛県22、秋田県21、千葉県21、神奈川県21などからの報告が多い。

AH3型も第2週以降増加し、第6～11週までの週別報告数は181、142、103、80、40、13である。新たに鳥取県(第3週)から分離が報告され、これまでに41都道府県から報告されている。このうちN型別された70件はすべてN2であった(神奈川県49、埼玉県13、広島県8)。第8週以降では、愛媛県25、岩手県24、北海道20、山形県20、兵庫県17などからの報告が多い。

AH1型は第48週以降少数ながらも報告が続いており、第6～11週までの週別報告数は2、2、1、4、2、0である。新たに兵庫県(第7週)、山形県(第9週)、秋田県(第9週)から分離が報告され、これまでに16都道府県から分離が報告されている。このうちN型別された2件はともにN1であった(埼玉県、広島県各1)。第8週以降では、北海道2(第8週1、第9週1)、山形県2(第9週2)、岩手県2(第10週2)、秋田県1(第9週)から報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2004/05シーズン

(病原微生物検出情報: 2005年3月25日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

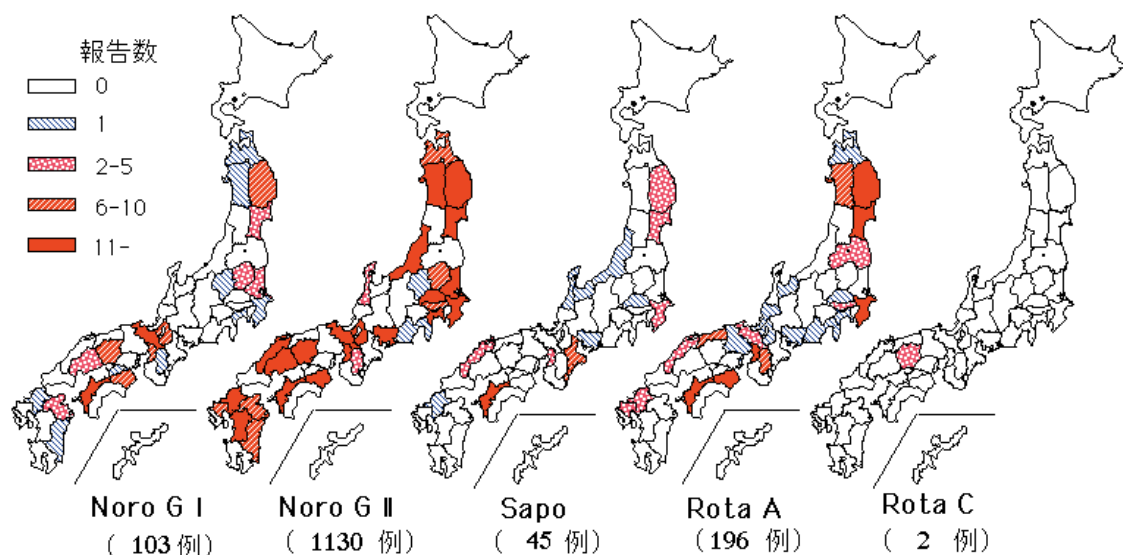
◆冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン

今シーズンはノロウイルスが1,411件、サポウイルスが45件、電顕による検出(SRSV)が8件報告されている。ノロウイルスの検出報告のうち、8割はgenogroup(G)IIで1,130件、GIは103件、G不明が178件である。GIIはこれまでに29都府県から検出が報告されており、このうち100件以上の検出は2府県(愛媛県189、大阪府154)から、50件以上が7府県(滋賀県91、千葉県72、茨城県71、京都府60、宮城県57、秋田県53、広島県50)から報告されている。GIは21府県から報告されており、京都府26、愛媛県15の報告には複数の集団発生事例からの検出が含まれている。サポウイルスは愛媛県14、三重県10など13府県から報告されており、千葉県では施設内で起きた成人の集団発生事例からの検出5件が報告されている(本号20ページ「速報」参照)。

ノロウイルス検出例の年齢は、1歳226、0歳103、3歳84の順に多く、6歳以下の小児からの検出が655件(51%)で半数を占める。また、食中毒や施設内集団発生事例からの検出報告の増加に伴い、20歳以上の成人からの検出も471件(36%)と増加しており、うち65歳以上の高齢者から187件(14%)が報告されている。一方、サポウイルス検出例では6歳以下からの検出が8割(36/45)を占める。

ロタウイルスは、これまでに200件の検出が報告されており、内訳はA群196、C群2、群不明2である。A群は宮城県32、大阪府28、岩手県23、愛媛県22、徳島県19、千葉県17など24都府県から報告されている。奈良県で検出されたA群2件の血清型はG1とG3であった。A群検出例の年齢は、1歳62、0歳42、2歳31、3歳16の順に多く、全体の約8割は3歳以下の乳幼児である。C群の2件は、岡山県の福祉・養護施設内で起きた集団発生事例で、いずれも成人からの検出である。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2004/05シーズン
(病原微生物検出情報: 2005年3月25日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



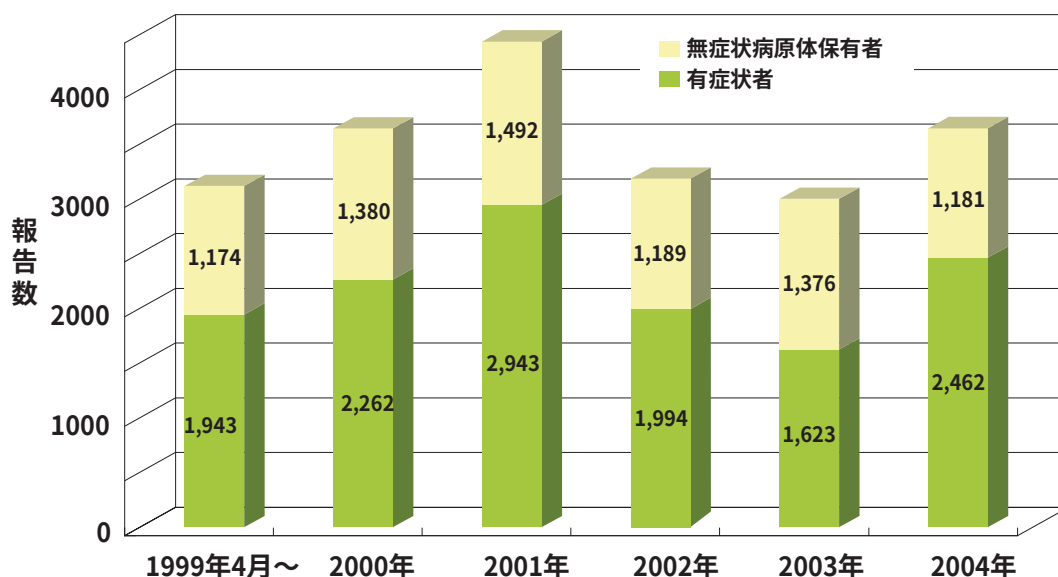
◆腸管出血性大腸菌感染症 2004年(2005年1月20日時点)

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法(1999年4月1日施行)に基づく3類感染症として、患者および無症状病原体保有者について、診断した全ての医師に届出が義務付けられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。

年次推移(図1)

2004年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数(診断週が2004年第1～53週のもので、2005年1月20日までに報告されたもの)は3,643例で、これは2000年以降の年間累積報告数と比較すると、2001年に次いで多く、2000年とほぼ同数であった。有症状者が2,462例(68%)、無症状病原体保有者が1,181例(32%)であり、感染症法施行以降では有症状者の占める割合が最も高かった。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症発生の年次推移



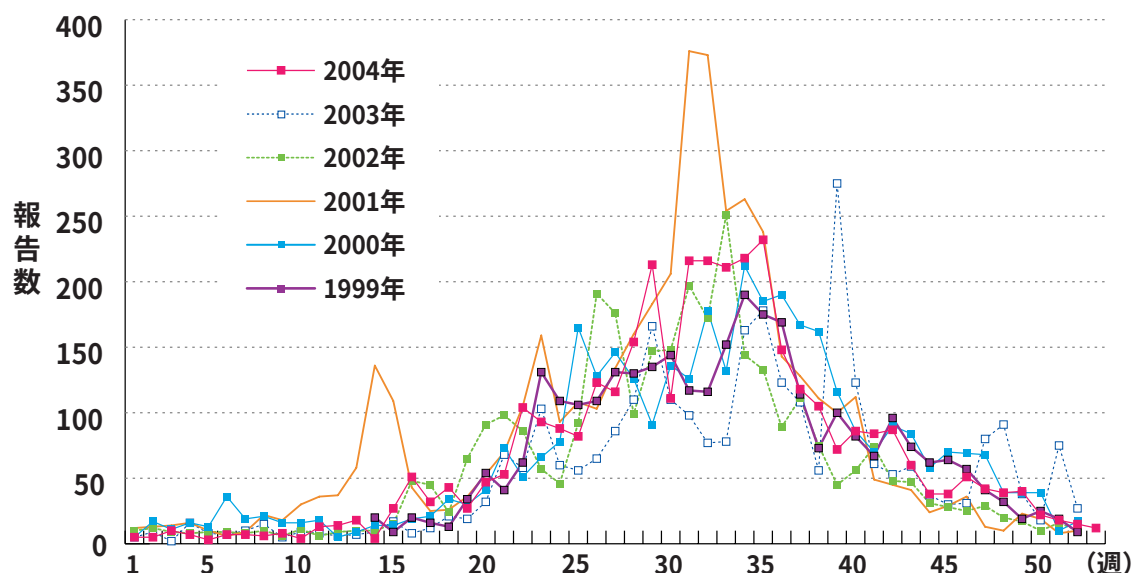
推定感染地域

2003年にはオーストラリアへの修学旅行に伴う集団発生(福岡県、61例:2次感染の1例を含む)があったが、2004年は韓国への修学旅行に伴う集団発生事例が2件あった。そのため、国外の占める割合が1999～2003年と比較して、わずかではあるが増加し、推定感染地域を国内とするものが3,320例(91%)、国外とするものが151例(4%)、不明が172例(5%)となった。国外を推定感染地域とする151例の推定感染国をみると、韓国が134例(うち、修学旅行関連が131例)、中国6例で、その他に台湾、ベトナム、インドネシア、パキスタン、キプロスなどであった。インドネシアでの感染は毎年報告があり、韓国での感染も2003年を除き、毎年報告がある。

週別推移(季節性)(図2)

例年、最大のピークは夏季にみられる傾向がある。2004年においても、7月中旬から9月上旬にかけて報告数の多い週が続いた。

図2. 腸管出血性大腸菌感染症の年次別・週別発生状況



都道府県(図3)

東京都(274例)、大阪府(251例)、岡山県(192例)、福岡県(186例)、石川県(175例)で多く、9つの都府県で年間累積報告数100例を超えた。また、人口10万人当たりの罹患率でみると、石川県(14.83)が最も多く、次いで岡山県(9.83)、鳥取県(8.66)が多かった。岡山県は保育施設での集団発生が複数あり、石川県(103例:2次感染の1例を含む)と鳥取県(30例:2次感染の1例を含む)では、ともに韓国への修学旅行による集団発生があった。

性・年齢群(図4)

性別では男性1,690例、女性1,953例で、年齢は0～100歳(中央値16歳)であった。年齢群別にみると、10歳未満1,540例(0～4歳996例、5～9歳544例)、10代543例、20代489例、30代336例、40代198例、50代207例、60代162例、70歳以上168例であった。20歳未満では男性がわずかに多く、20歳以上では女性が多くなっており、年齢中央値は男性11歳に対し、女性は18歳と差が認められた。

症状の有無でみると、有症状者の占める割合は若年者と高齢者に高く、特に10歳未満と10代では80%を占め、60代、70歳以上では60～70%を占めた。一方、男性の30～40代、女性の30～50代では有症状者は40%前後で、無症状病原体保有者の方が多かった。

図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告数と罹患率（2004年）

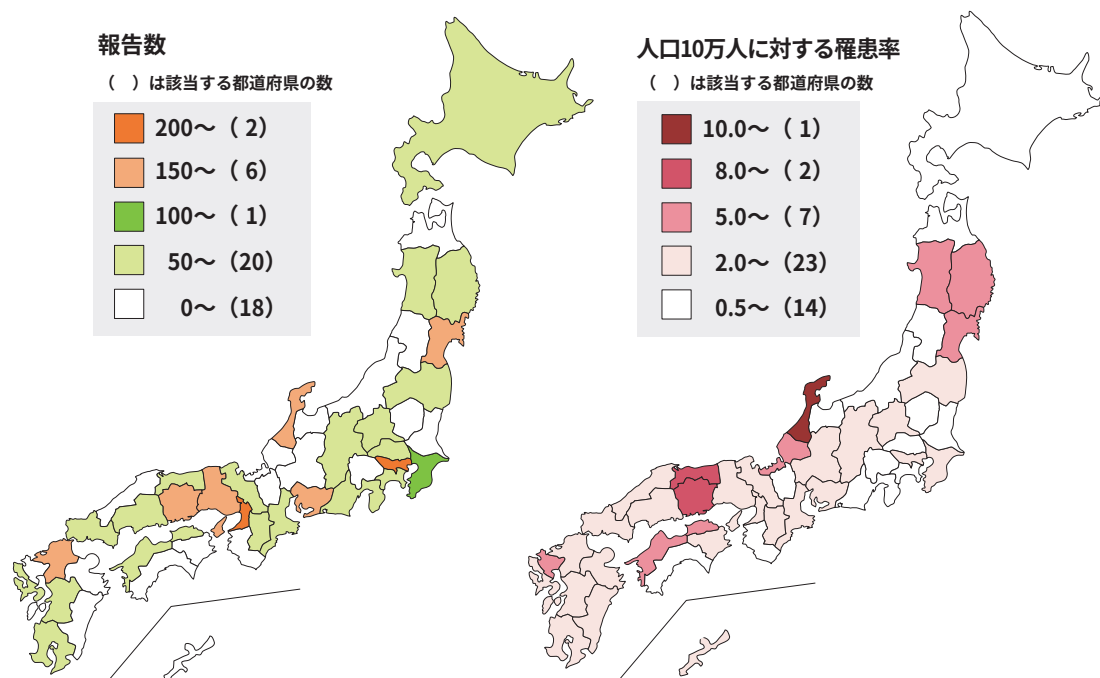
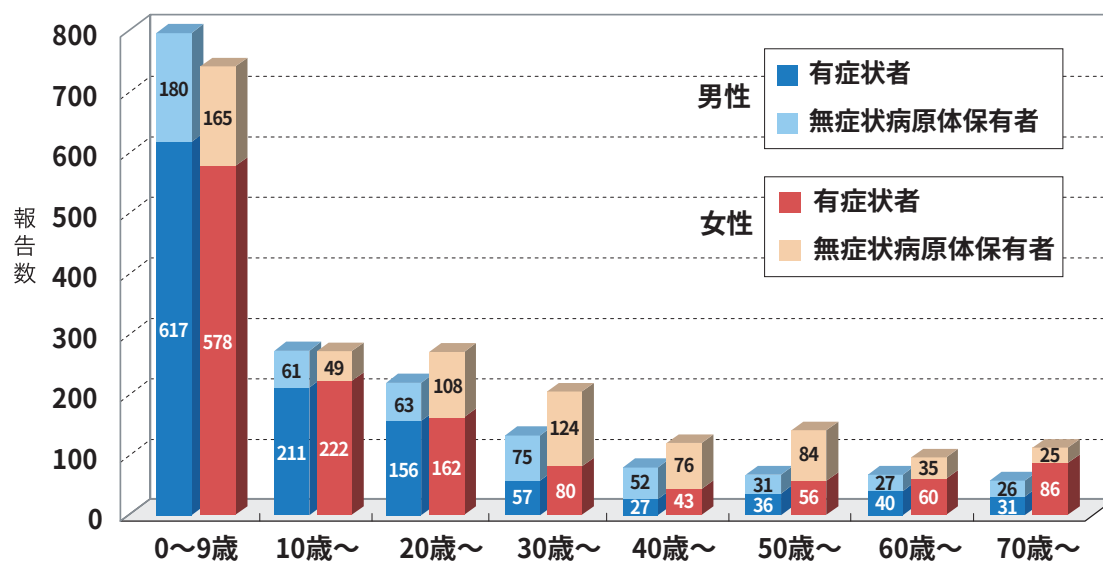


図4. 腸管出血性大腸菌感染症の年齢群別・性別症状の有無（2004年）



血清型・毒素型(表1)

血清型はO157(約65%)、O26(約20%)、O111(約5%)の順で、これは従来と同様であった。毒素型も加えると、O157 VT1・VT2が1,264例(他の型との重複感染例5例を含む)と最も多く、次いでO157 VT2が831例、O26 VT1が657例(他の型との重複感染6例を含む)であった。また、本年はO111 VT1・VT2が140例(他の型との重複感染例4例を含む)と過去の年に比べ多かったが、このうちの103例(73.6%)は、2004年7月に発生した修学旅行に伴う集団発生によるものであった。

また、4月初旬から中旬にかけて石川県、福井県、岡山県、香川県で散発的に発生した事例の菌の遺伝子型において、パターンの一致が認められ、調査が実施されたが原因の解明には至らなかった。

表1. 腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型 2004年

血清型	毒素型	有症状者	無症状病原体保有者	総数
O157	VT1	57	25	82
	VT2	531	295	826
	VT1・VT2	905	354	1,259
	VT	178	27	205
小計		1,671	701	2,372
O26	VT1	370	275	645
	VT2	4	1	5
	VT1・VT2	17	8	25
	VT	43	11	54
小計		434	295	729
O111	VT1	34	9	43
	VT2	4	0	4
	VT1・VT2	84	52	136
	VT	1	1	2
小計		123	62	185
その他				
複数検出	O157 VT1・VT2+O26 VT1	3	1	4
	O157 VT1・VT2+OUT VT1	0	1	1
	O26 VT1+O111VT1・VT2	2	0	2
	O111 VT1・VT2+OUT VT1	1	1	2
血清型不明	VT1	57	65	122
	VT2	91	31	122
	VT1・VT2	66	17	83
	VT	14	7	21
小計		234	123	357
総計		2,462	1,181	3,643

重症例・死亡例

溶血性尿毒症症候群(HUS)は48例で記載されており、有症状者の1.9%であった。性別では男性16例、女性32例で、年齢群別では10歳未満が39例(5歳未満は28例)と最も多く、10代2例、20代1例、60代1例、70歳以上5例であった。血清型・毒素型ではO157 VT1・VT2が19例、O157 VT2が15例、O157毒素型不明が5例で、O157が全体の81%を占めた。他は、O111 VT1・VT2が2例、O26 VT1・VT2が2例、その他が5例であった。死亡は5例で記載されていたが、その年齢は2歳2例、3歳1例、70代1例、80代1例であり、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が2例、O26 VT1・VT2が1例、O26 VT1が1例、O111 VT1・VT2が1例であった。

HUSの合併や死亡例については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があるため、このような転帰が判明した場合には報告の修正をお願いしている。

2004年のまとめ

2004年は感染症法施行以降、2番目に報告数が多い年度となった。年齢群別では有症状者、無症状病原体保有者ともに0～9歳が最も多く、報告数全体の42%を占め、特に0～4歳が多かった。また、相変わらず各地で保育施設での集団感染事例が発生した。保育施設などでの人から人への感染を防ぐためには、タオルの共用を避けることや、普段からの手洗い(特にオムツ交換時)、園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。また、海外での感染も発生しており、特に2003年、2004年と海外への修学旅行に伴う大規模な集団発生が起きているので、注意が必要である。

原因の特定には至らなかったが、菌の遺伝子型パターンの一致から広域集団発生が疑われた事例もあった。現在、地方衛生研究所・国立感染症研究所などにおける菌株の解析情報と、患者情報(疫学情報)を組み合わせたサーベイランスシステムによって、広域集団発生事例を迅速に探知する努力がなされている。

腸管出血性大腸菌感染症は、依然として小児や高齢者にHUSなどの重症例や死亡例がみられるので、2005年も引き続き、発生動向調査での推移を注意深く見守る必要がある。

◆知的障害者施設におけるサポウイルスの集団発生—千葉県

サポウイルスはノロウイルスと同じカリシウイルス科に属し、小児に急性胃腸炎を引き起こすウイルスである。これまで集団発生の報告は少なかったが、近年仕出し弁当や給食を原因とした食中毒の報告がされている。今回成人における集団発生を経験したので報告する。

2005年2月中旬、千葉県内の知的障害者厚生施設で急性胃腸炎の集団発生の届出がされた。当該施設は入所者50名(19歳～56歳;男性35名、女性15名)、職員30名で、そのうち入所者17名、職員5名が発症した。臨床症状の発現頻度は下痢80%、嘔吐50%、悪心10%、発熱20%で、ほとんどが2～3日で回復した。2月17日に1名の発生があった後、20日の7名、21日の6名をピークとし、26日まで患者発生が続いた。20～21日の大きなピークは単一曝露が考えられた。施設の建物は2階建てになっており、すべての部屋は2人用で、1階に16室、2階に12室であった。入所者は同じ食事をとっていたにもかかわらず、患者発生は1階の部屋に限られており、このことから食事との関連性は薄いと考えられた。施設で行っている作業工程と患者発生に関連性もみられず、感染源を特定できなかった。また、22～26日の患者発生は二次および三次感染と思われた。

患者便5検体(入所者3名、職員2名)についてノロウイルスのRT-PCRを行ったが、すべて陰性であった。電子顕微鏡では3名からSRSVを検出した。サポウイルスのRT-PCRを行ったところ、5検体すべて陽性となった。サポウイルスはこれまで5つのgenogroup(G)が報告されている¹⁾。系統解析の結果、検出した株はすべて同一であり、GIであった。また、今冬の小児散発例2検体からサポウイルスを検出したが、いずれもGIIで集団発生の株と異なっていた。

今回の集団発生の感染経路は明らかでないが、施設の特異性から汚物により環境が汚染され、施設内に広まったと推測された。また、成人においても人→人感染を起こすことが示唆され、今後サポウイルスの動向を監視する必要があると思われた。

【引用文献】

1) Farkas T et al., Arch Virol 149:1309-1323, 2004

千葉県衛生研究所

篠崎邦子 岡田峰幸 小川知子 窪谷弘子 吉住秀隆 一戸真人

千葉県市原保健所

児玉賀洋子 木村 威 藤 幸子

(IASR2005年4月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

●アンゴラでのマールブルグ病流行

WHO/CSR Outbreak News 2005年3月23日

http://www.who.int/csr/don/2005_03_23/en/

アンゴラでウイルス性出血熱が疑われる流行がみられたが、この感染起因病原体は、検査室診断でマールブルグウイルスであると同定された。このウイルスは2005年3月21日、死亡者12名中9名の臨床検体から検出された。2004年10月までさかのぼった後向き解析で、この流行により現在まで、102名の患者が同定されている。これら患者のうち95名が死亡している。現在までのところ、大部分の患者はアンゴラ北部のUige地域に集中している。

流行開始以降、月間患者数は次第に増加しているが、この増加はサーベイランス強化に伴う結果である。75%前後の患者が年齢5歳以下の小児において発生している。成人患者の中には少数の医療関係者も含まれる。マールブルグ病にはワクチンや根治療法は存在せず、急速に死に至ることがある。現在の流行では、大部分の死亡者が発症から3日から7日の間に死亡している。過去の流行からは、医療行為や死者の埋葬に伴う感染者の体液との密接な接触により、感染リスクが増加することが示されている。WHOは、アンゴラ保健省が各病院における感染コントロールを強化し、患者検知と接触歴追跡調査を強化し、マールブルグ病とその感染伝播経路に関する理解を高める対策を実施することを支援している。

背景情報:

マールブルグ病は、重症の出血症状を伴う急性発熱性疾患である。この疾患の潜伏期間は3～9日である。感染初期には症状は非特異的で、マラリア、黄熱、腸チフスなどのより頻度の高い疾患にしばしば誤診される。初期症状は重症の水様性下痢、腹痛、悪心・嘔吐、胸部や肺の激しい疼痛、咽頭痛、咳嗽などである。第5～7病日には高率に重症の出血症状を示すが、消化管や肺の出血が最も高頻度である。通常はこの時点で特徴的な皮疹が出現し、時に全身に拡大することがある。

この疾患は、1967年にドイツのマールブルグとフランクフルト、旧ユーゴスラビアのベオグラードの検査室従業員が感染した同時多発流行において、初めて同定された。この流行では31名の患者と7名の死亡者が発生したが、その後、ウガンダから輸入された感染サル(アフリカミドリザル)との接触に関連付けられた。このウイルスはその後しばらく姿を消したが、1975年2月、南アフリカの病院に、ジンバブエの旅行から帰って間もない重症患者男性が入院した。感染はこの男性から、渡航時の同伴者、病院看護師へと拡大した。この男性は死亡したが、その他2名の患者は回復した。また、1980年にケニアで患者2名が発生し、うち1名が死亡した。1987年にはケニアでさらに1名の死亡者が発生した。史上最大規模の流行としては、1998年末から2000年末にかけてコンゴ民主共和国で149名の患者が発生し、うち123名が死亡した。流行は当初、Durba地域の金鉱労働者に集中していた。

マールブルグ病の発生は極めて稀であるが、地理的にはアフリカ大陸南部の少数の国々に限定されていると思われる。一度患者が発生すると、ヒト・ヒト感染(患者に対する医療行為中が最も多い)をする感染伝播能力があるため、大流行を来す可能性を秘めている。こうした理由から、患者管理中には厳密な感染制御策を実施することが要求される。マールブルグ病の流行制圧にはまた、迅速な接触歴調査と接触者隔離が必要である。感染リスクが伝統的な埋葬手段の実施に関連することを、地域社会に情報提供するための保健教育が必要である。過去数年間にわたる精力的な調査にもかかわらず、ウイルスの動物保有宿主を発見し、流行の合間にこのウイルスが自然界のどこに潜伏しているかを同定する研究は成功していない。

CDC旅行医学ホームページ 流行警告 2005年3月25日

http://www.cdc.gov/travel/other/marburg_vhf_angola_2005.htm

CDCは、アンゴラ北部のUige州における急性出血熱症候群疑い例の流行から採取された臨床検体12検体中9検体にて、マールブルグウイルスの存在を確認した。検査室診断は2005年3月21日に、CDCの特定病原体部門において実施された。WHO報告によれば、2004年10月までさかのぼる流行の後向き調査で、95名の死亡者を含む102名の患者が同定された。報告患者の約75%が年齢5歳未満の小児である。男女の比率はほぼ同数である。主要な症状は発熱、出血、嘔吐、咳嗽、下痢、黄疸である。

アンゴラ保健省はWHOその他の国際支援団体と協力して、流行調査と公衆衛生対策を実施している。マールブルグウイルスの存在を確定したCDC検査室診断では、PCR法と抗原検出ELISA法を併用している。CDCはアンゴラにおける状況に関して、WHOと緊密に連絡を取り合っている。

マールブルグ出血熱は主に、東部および中央アフリカ諸国に棲息するウイルスにより発症すると考えられている。この疾患は稀ながら、とりわけ患者を診療看護した医療関係者や家族などに感染伝播する性質がある。

●チャドにおける髄膜炎菌性疾患

WHO/Outbreak Reports 2005年3月24日

2005年1月1日～3月16日の期間に、チャド保健省は国内で53名の死亡者を含む387名の髄膜炎菌性疾患患者(致死率13%)を報告した。2つの地区で疫学的流行閾値に達している: Bongor地区(患者124名、死亡者6名)、Moissal地区(患者64名、死亡者16名)である。

髄液16検体中9検体にて、髄膜炎菌*Neisseria meningitidis*血清型A群であることを確定した。

保健省は感染地区で3月11日に、集団ワクチン予防接種キャンペーンを開始した。流行性髄膜炎制御ワクチン備蓄国際協調グループ(International Coordinating Group on Vaccine Provision for Epidemic Meningitis Control: ICG)が、2価ワクチンの追加の20万回投与分を供給する予定である。国境なき医師団ルクセンブルグが保健省の集団ワクチン接種キャンペーンを支援しており、WHOが監視強化の技術支援を提供している。

●スーダンでの髄膜炎菌感染症

WHO/Outbreak Reports 2005年3月23日

2005年3月14～20日の週時点で、North Darfur州Kabkabia地区Saraf Omraから、髄膜炎菌感染症疑い患者27名が報告されている。採取された検体20件中11件(55%)において、ラテックス凝集法または培養検査で髄膜炎菌*Neisseria meningitidis* W135群陽性と確認された。

この検査結果に基づきスーダン政府保健省は、流行地区で集団ワクチン接種キャンペーンを行うため、流行性髄膜炎対策ワクチン供給に関する国際調整グループ(ICG)に対して、3価ワクチン161,000回接種分を要求した。このワクチンは3月第4週に到着する予定である。集団ワクチン接種キャンペーンはSaraf Omra行政区、およびその周辺にある村々の感染の危険性のある住民を対象とし、国境なき医師団ベルギーとWHOの支援を受けた保健省により実施される予定である。



感染症の話

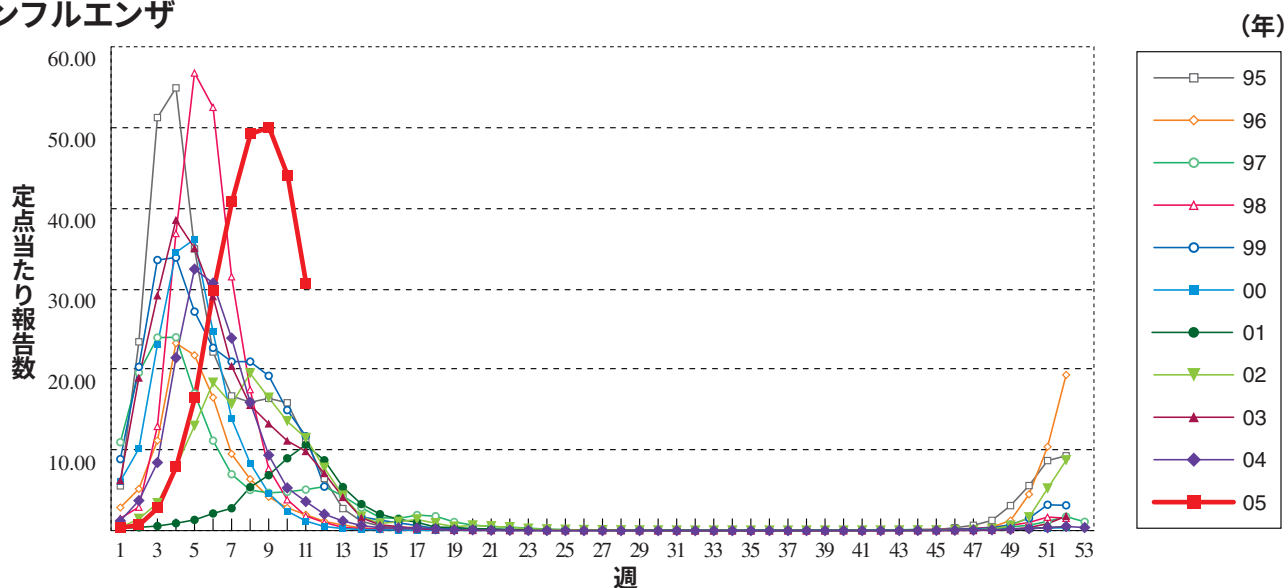
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

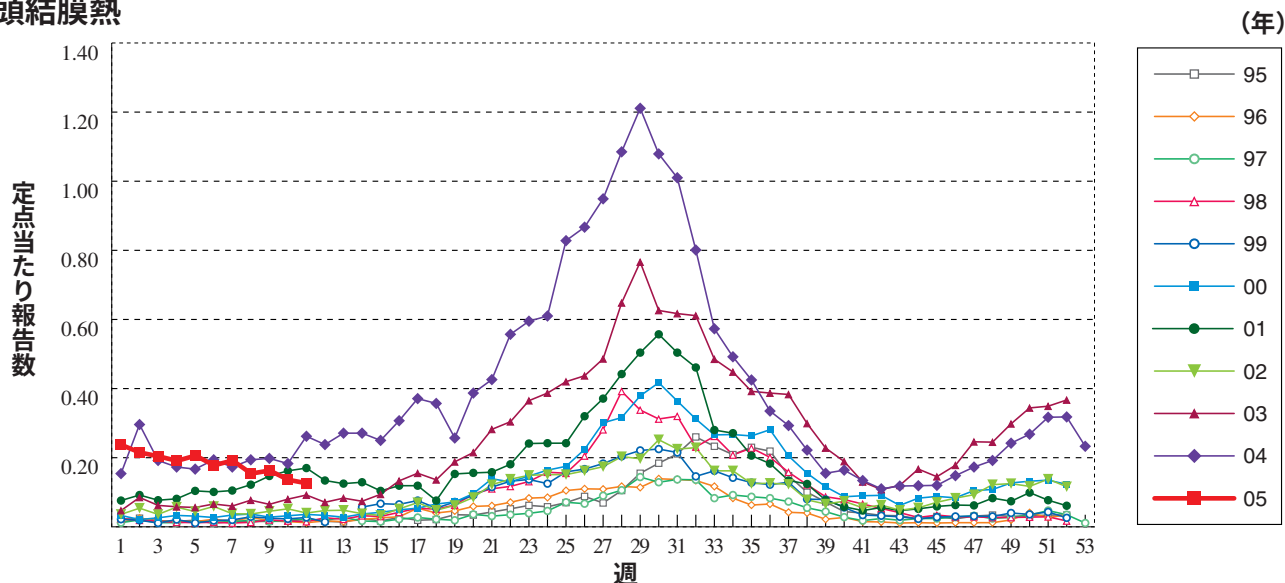


グラフ総覧(11週)

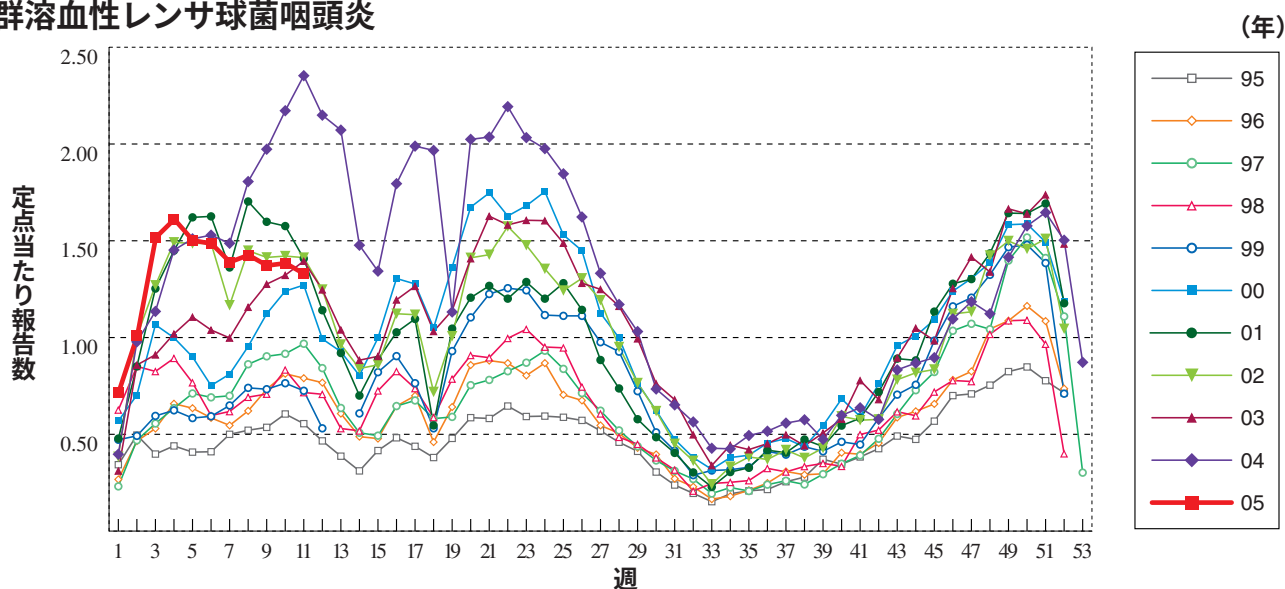
インフルエンザ



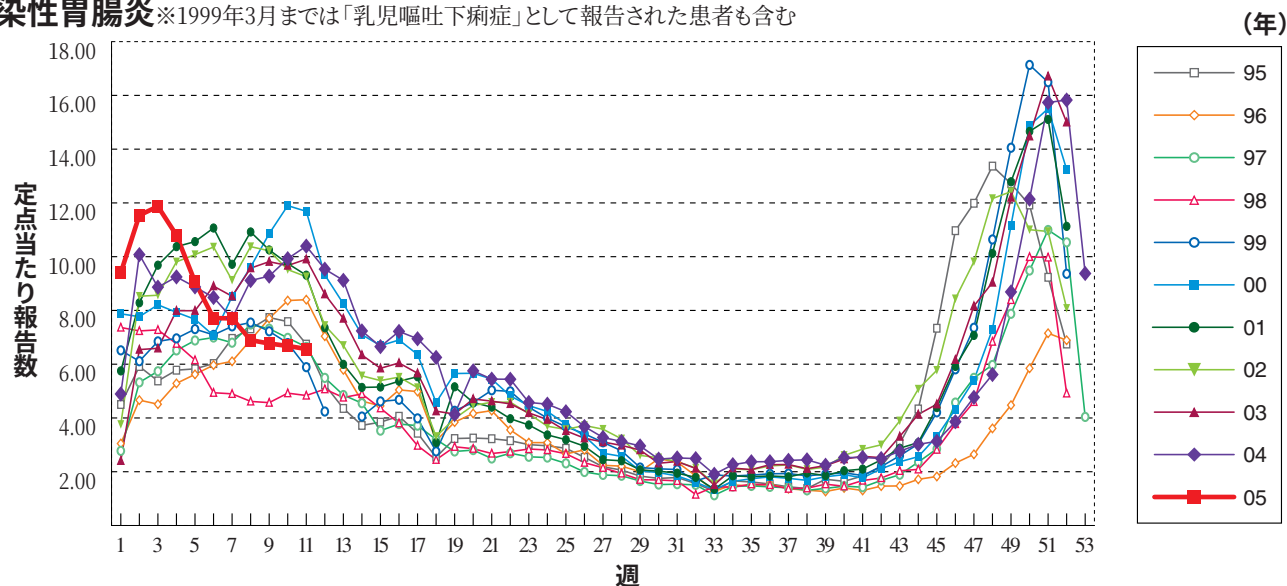
咽頭結膜熱



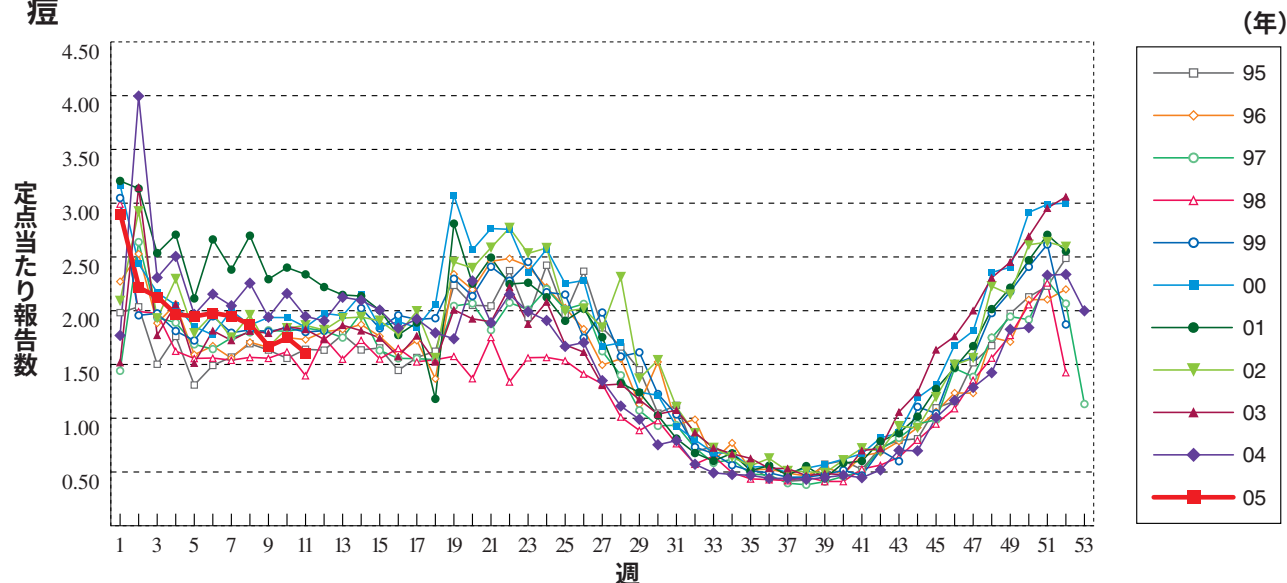
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



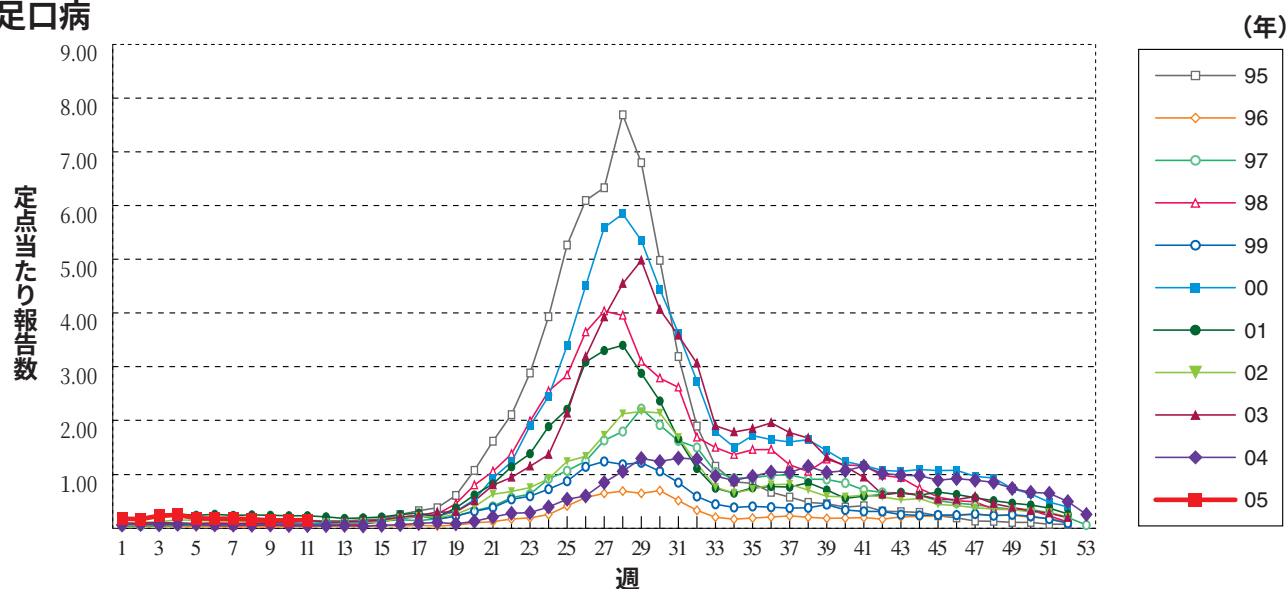
感染性胃腸炎※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



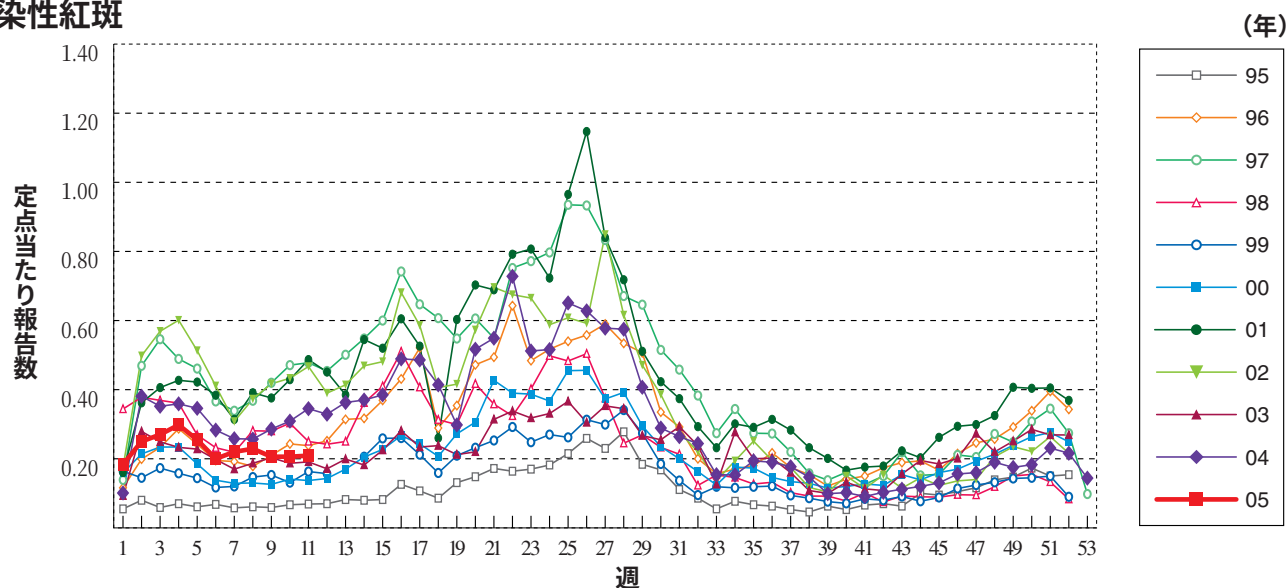
水痘



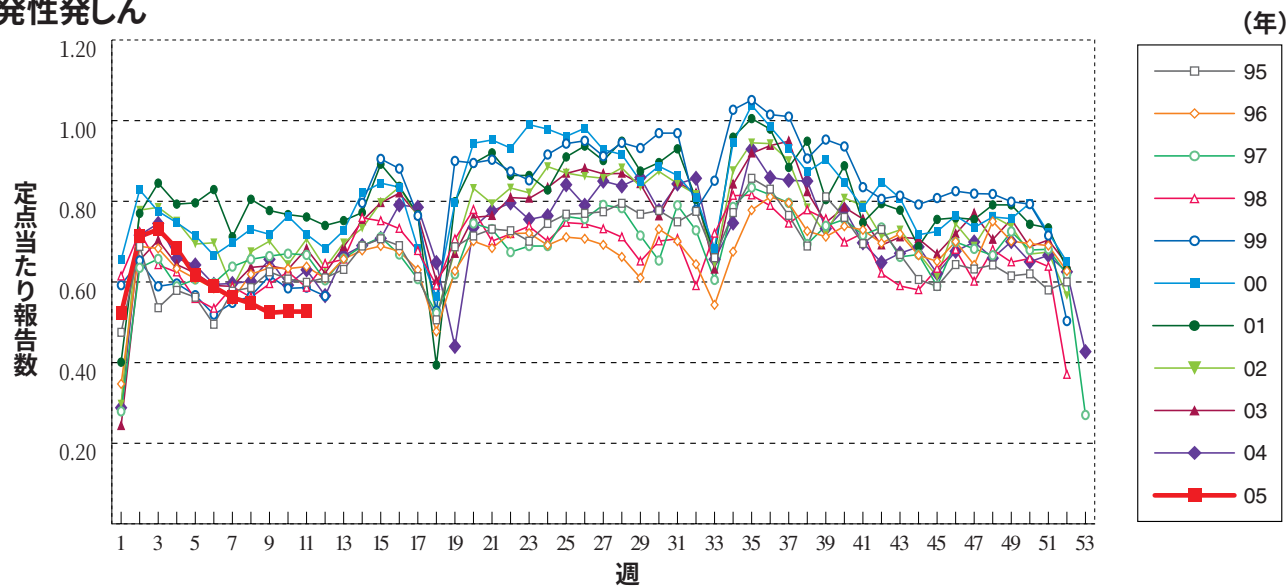
手足口病



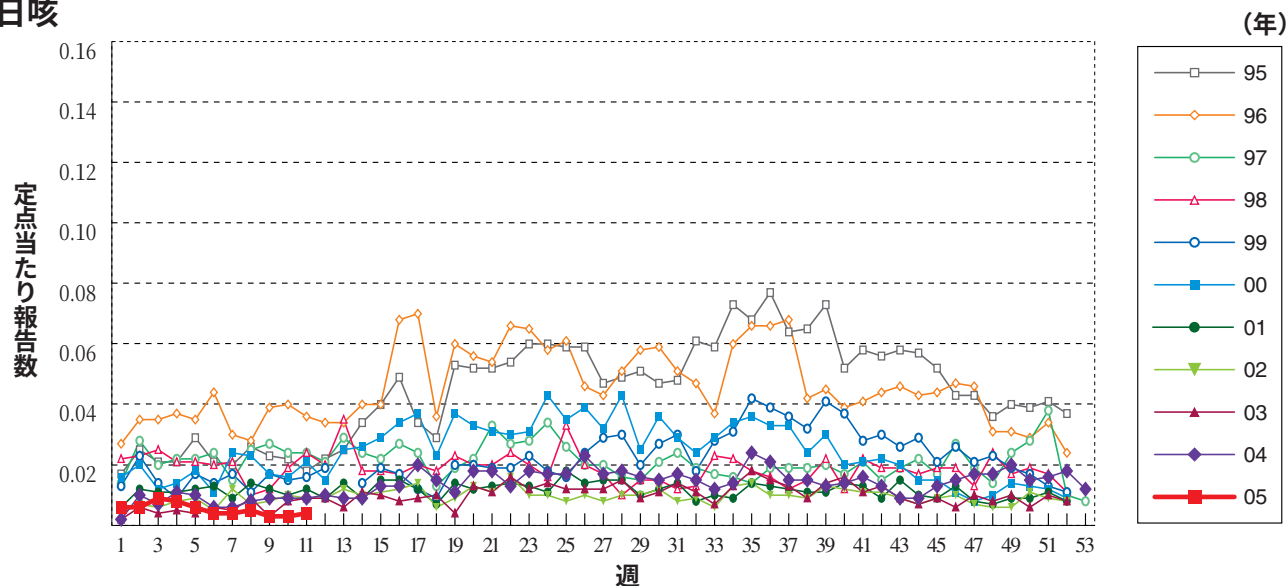
伝染性紅斑



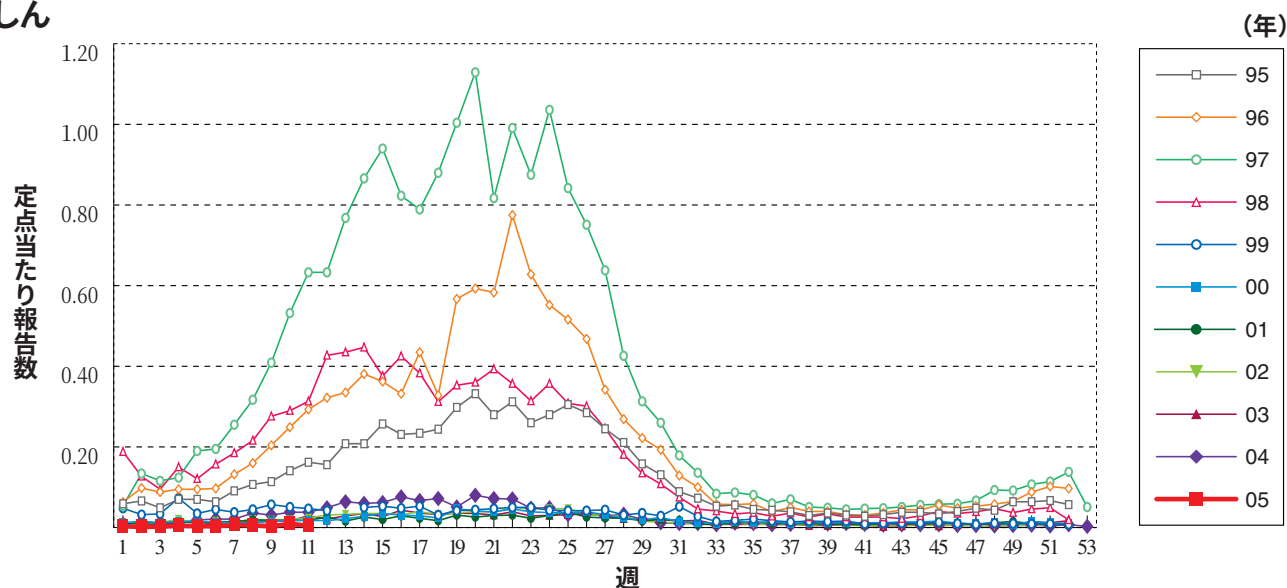
突発性発しん



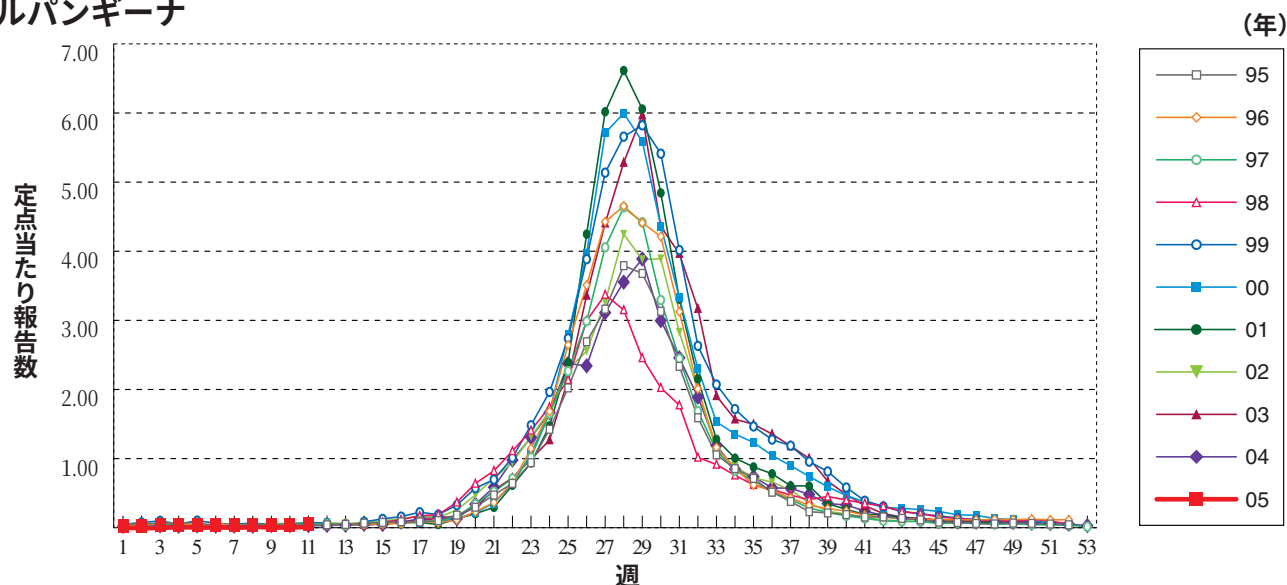
百日咳



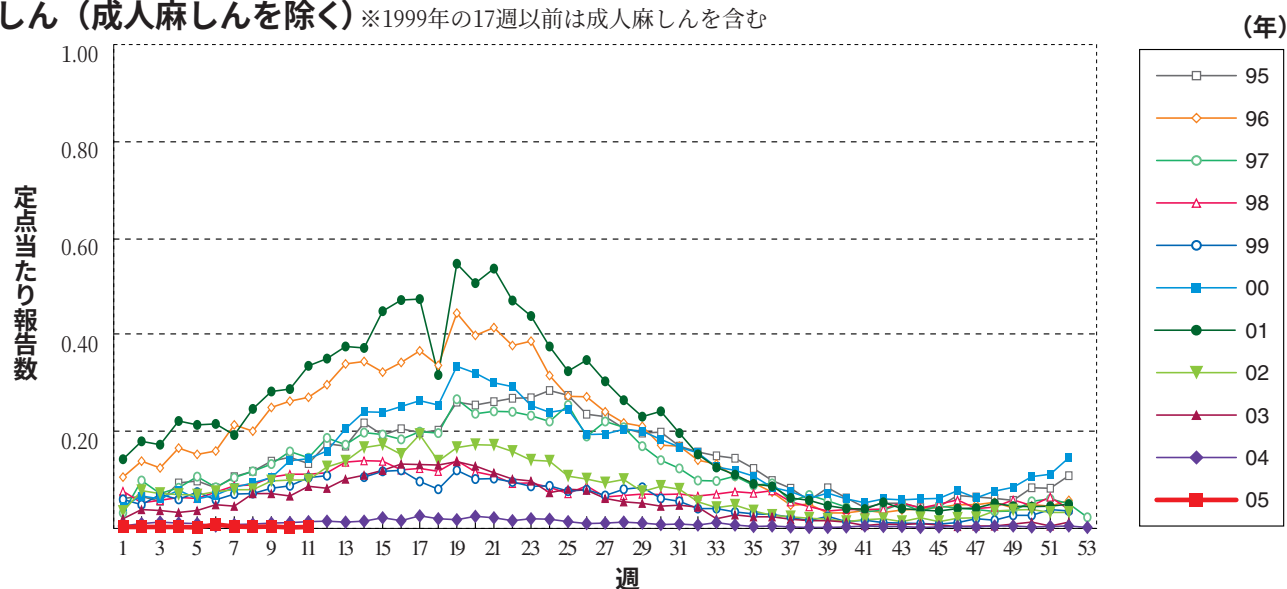
風しん



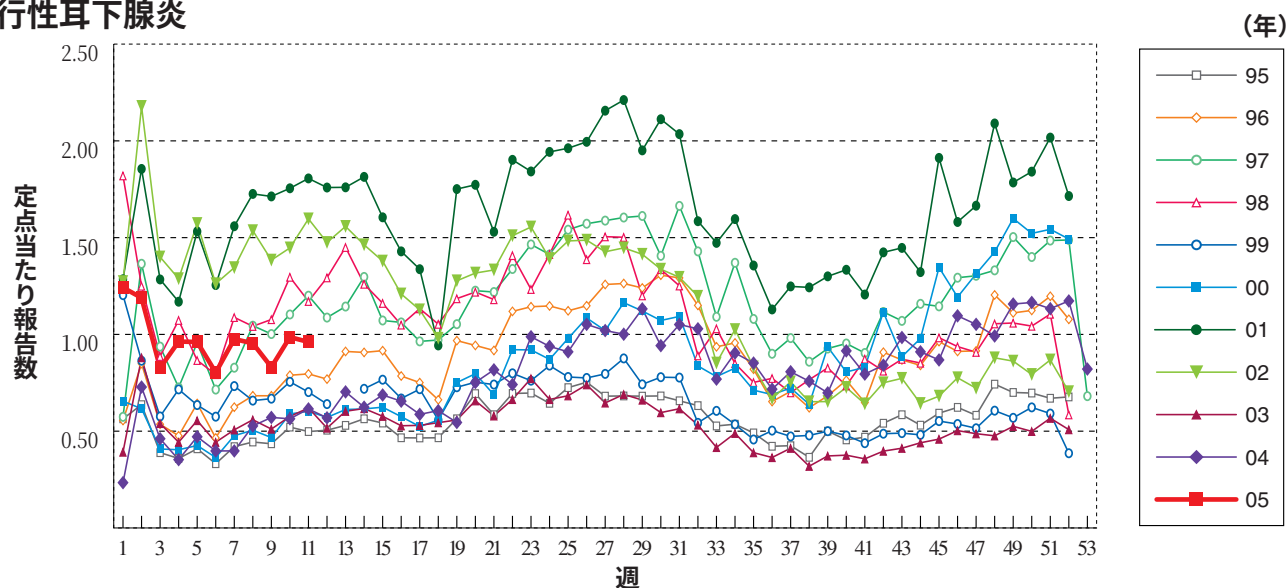
ヘルパンギーナ



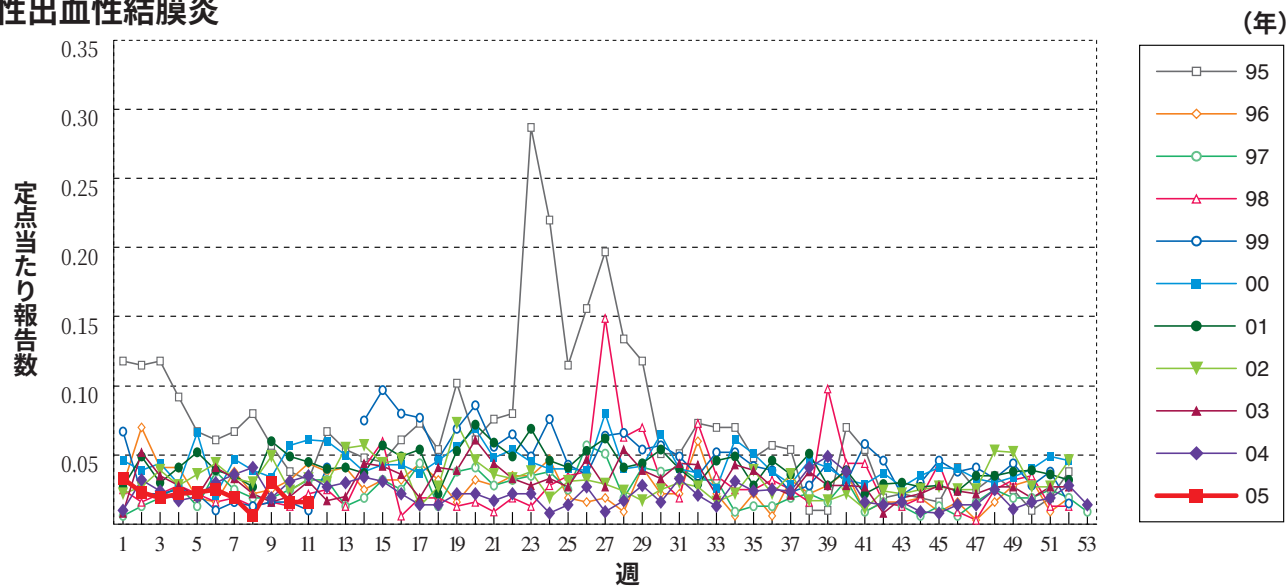
麻しん (成人麻しんを除く) ※1999年の17週以前は成人麻しんを含む



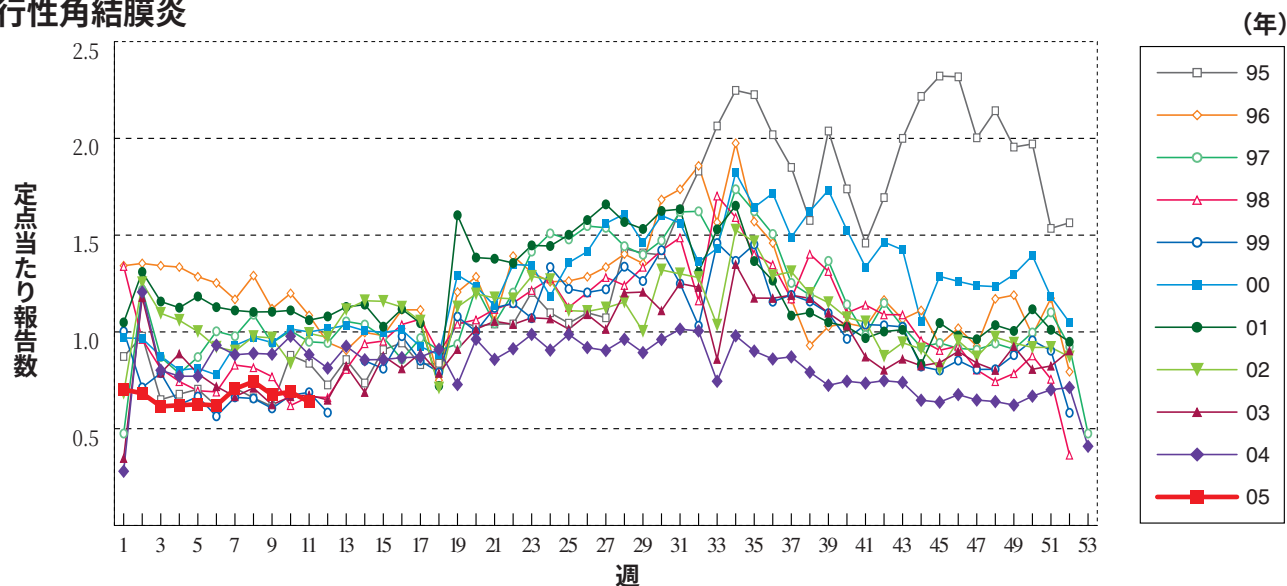
流行性耳下腺炎



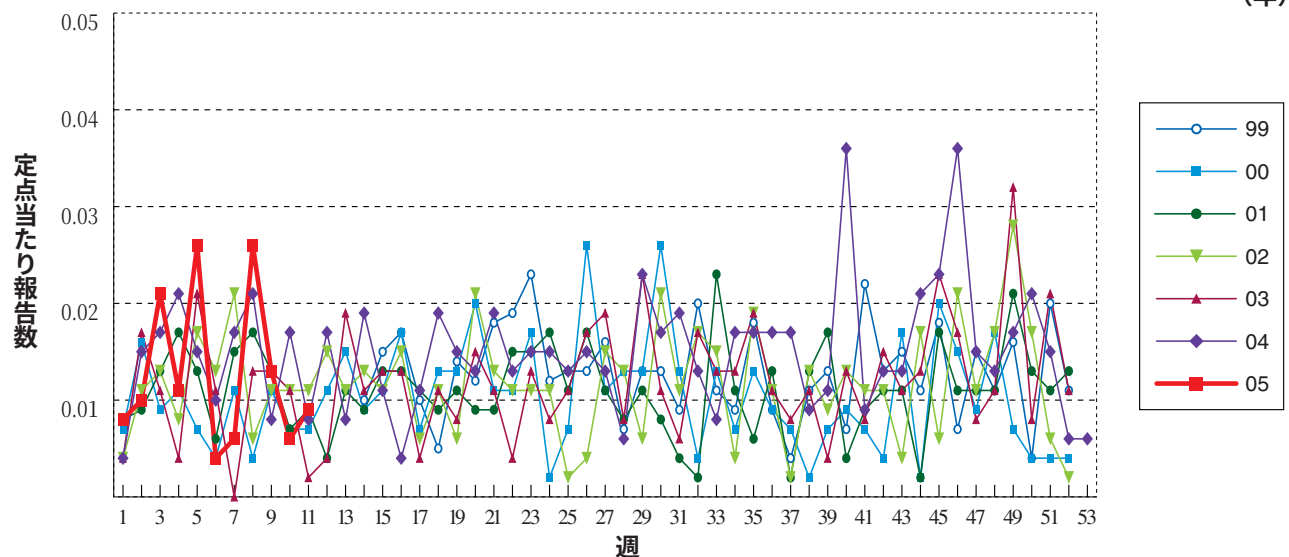
急性出血性結膜炎



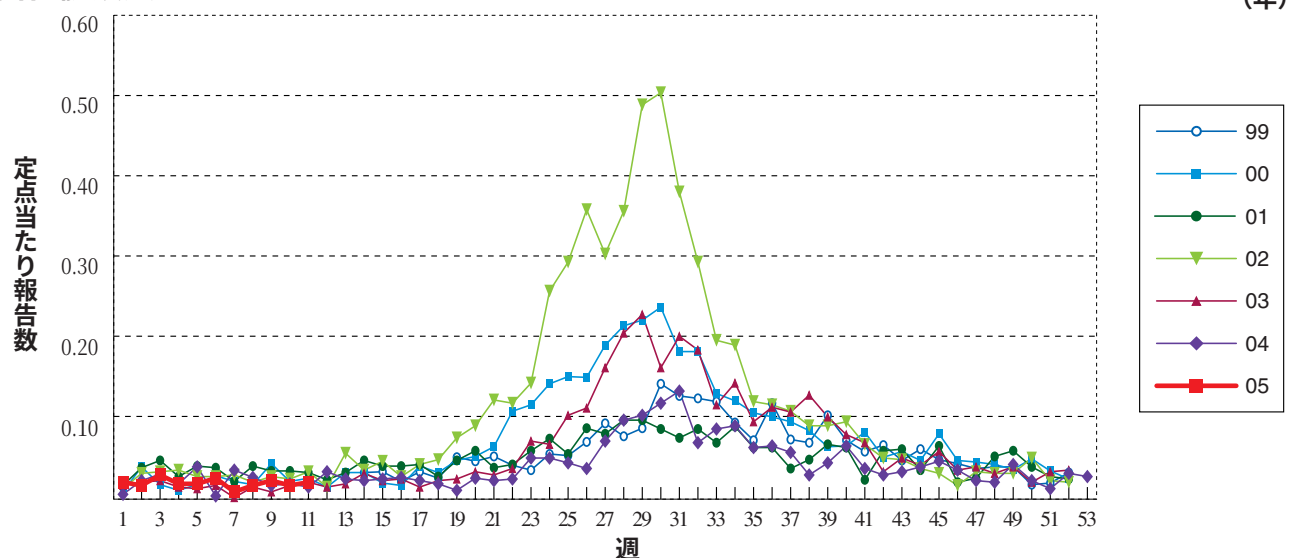
流行性角結膜炎



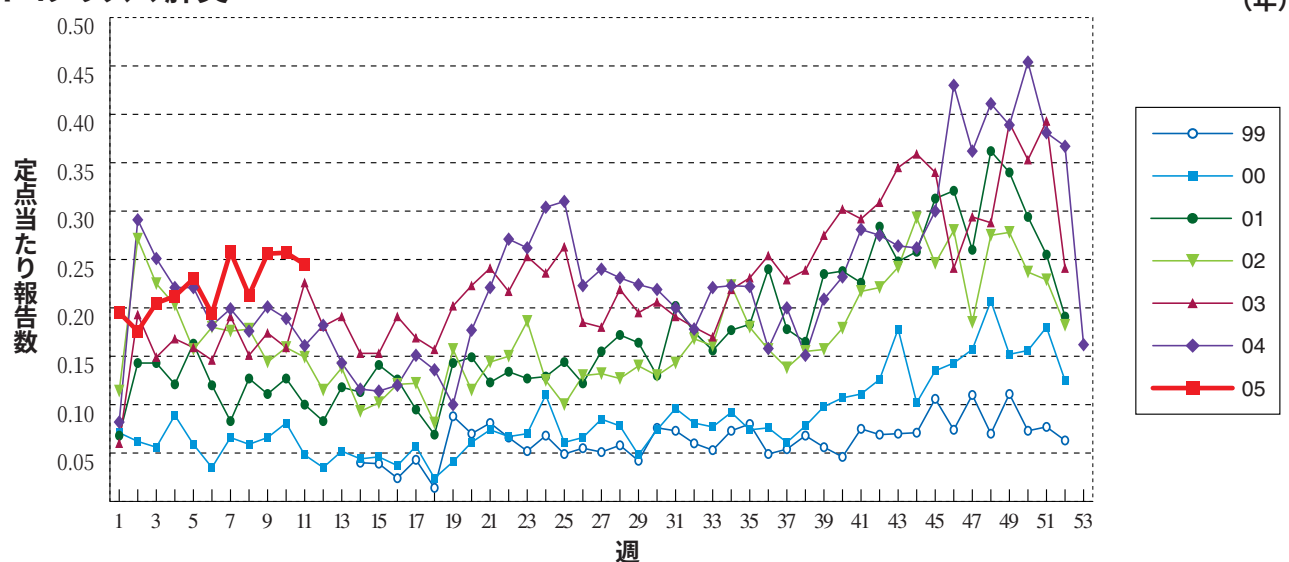
細菌性髄膜炎



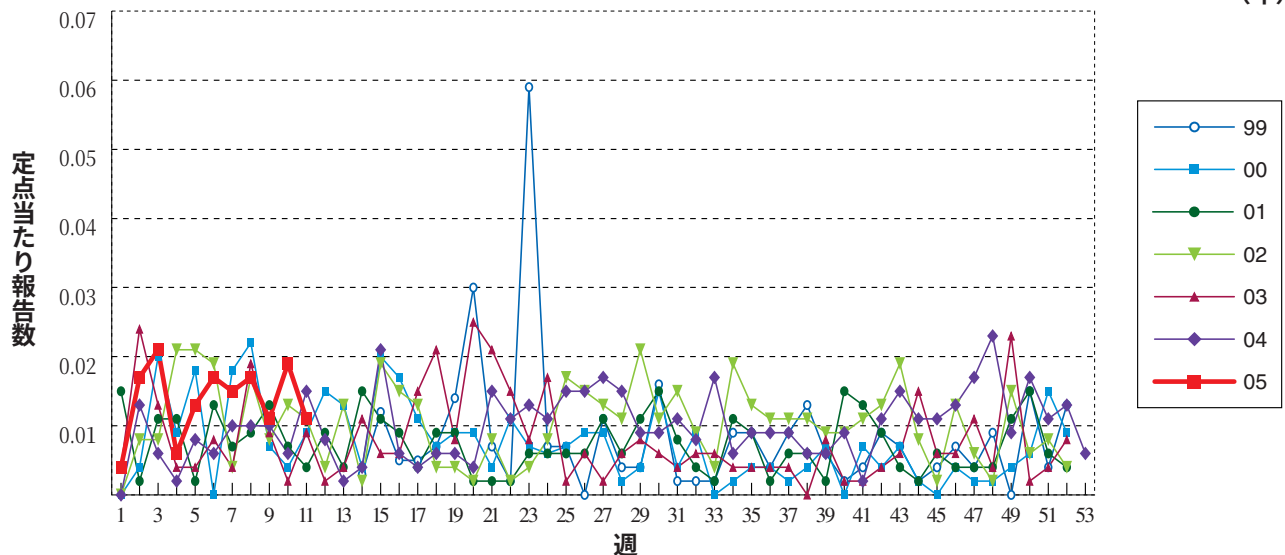
無菌性髄膜炎



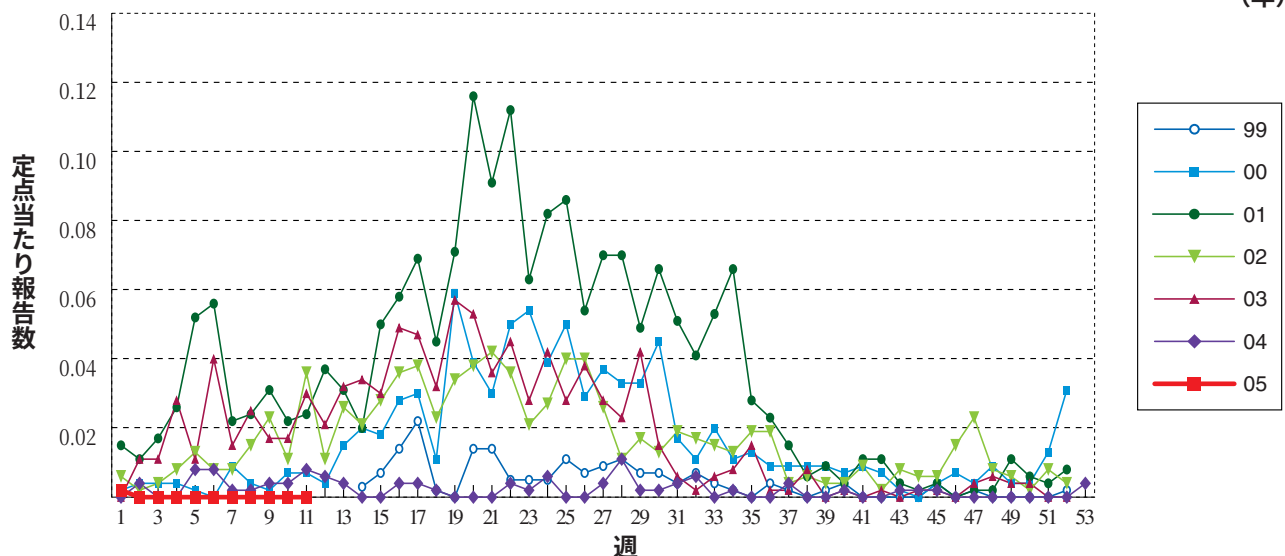
マイコプラズマ肺炎



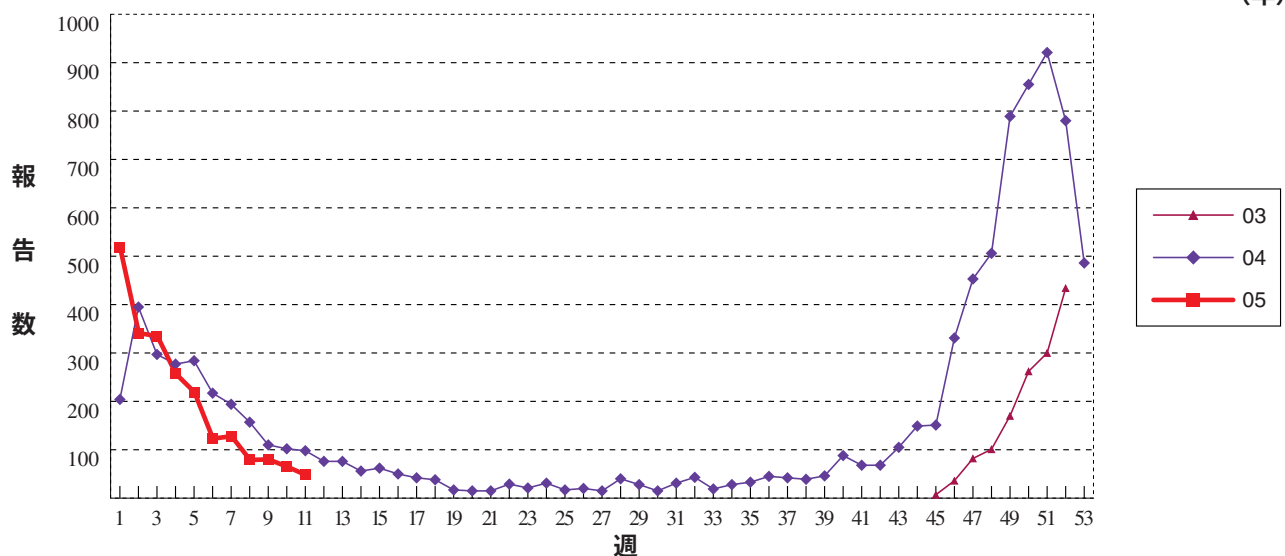
クラミジア肺炎（オウム病を除く）



成人麻しん



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

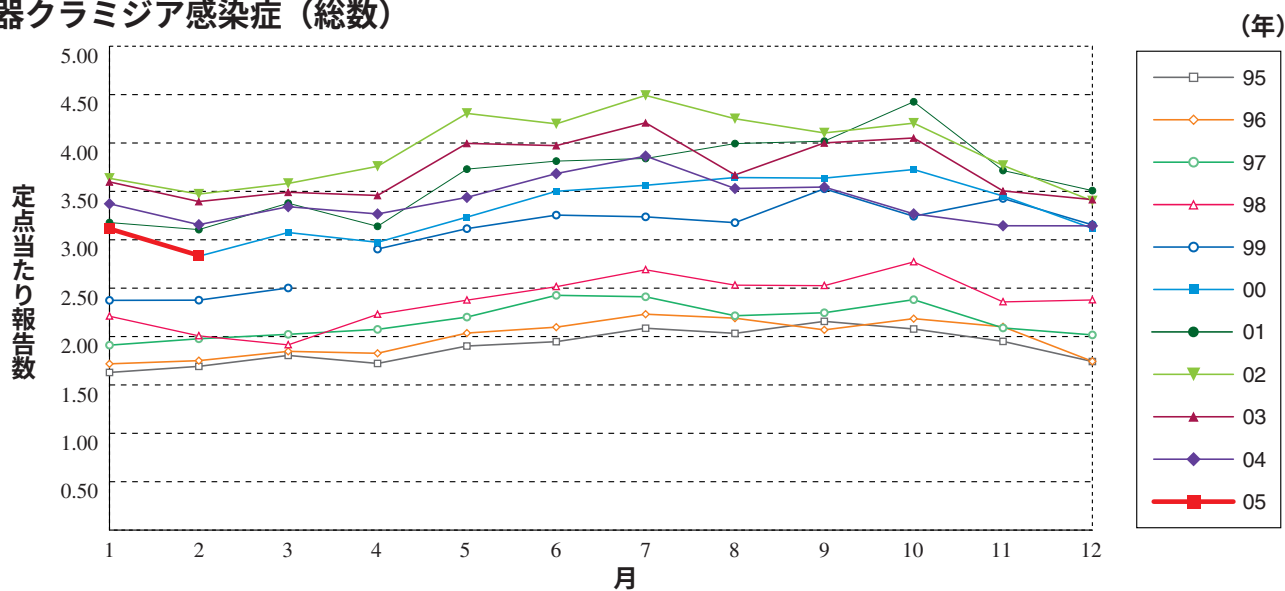




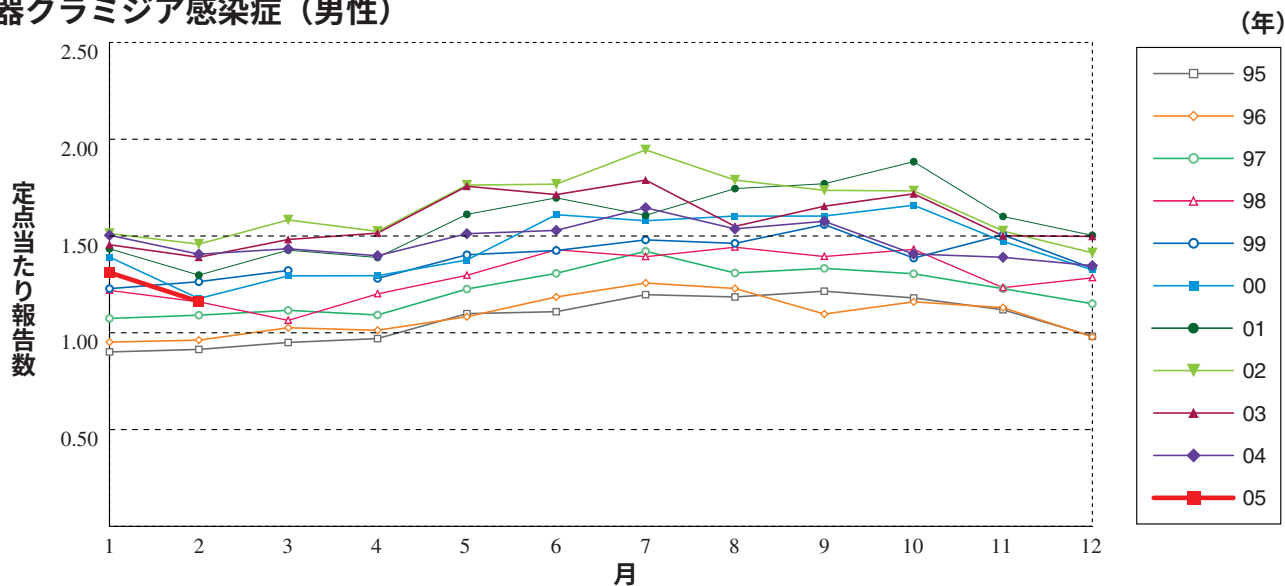
グラフ総覧(2月)

注) 1999年4月以降は定点設定が変更されております。

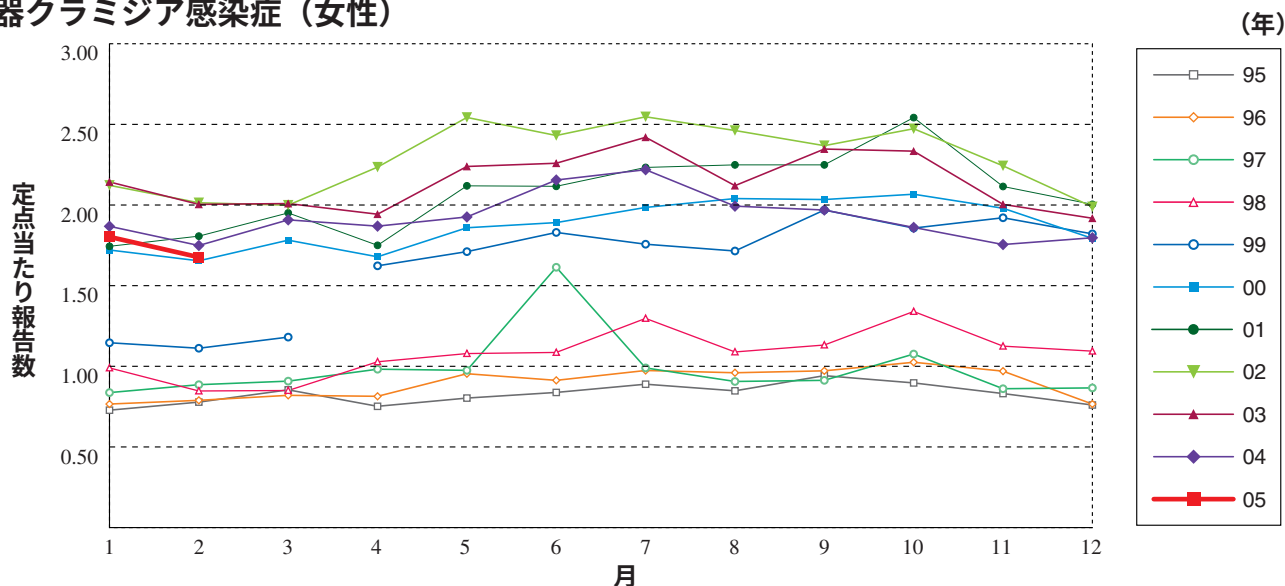
性器クラミジア感染症 (総数)



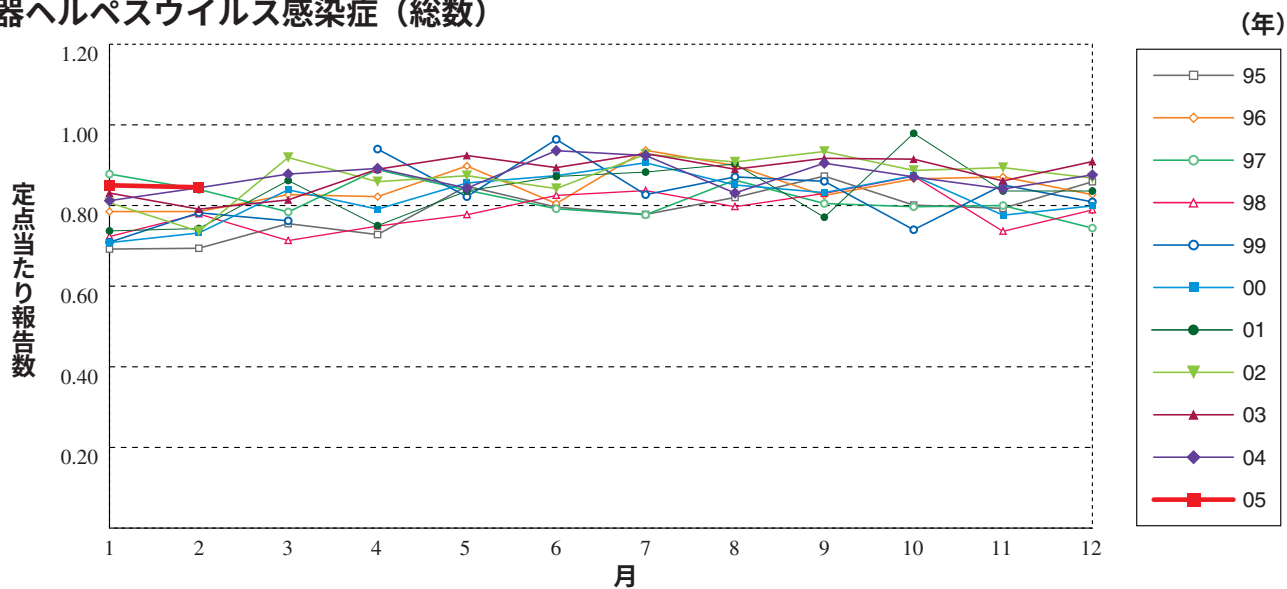
性器クラミジア感染症 (男性)



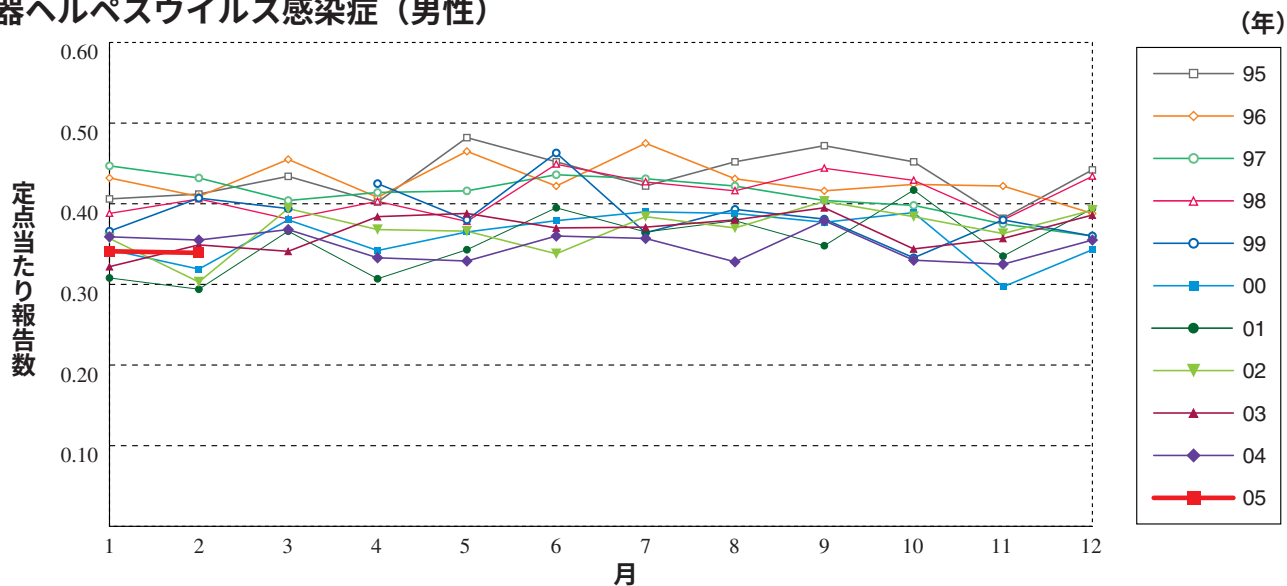
性器クラミジア感染症 (女性)



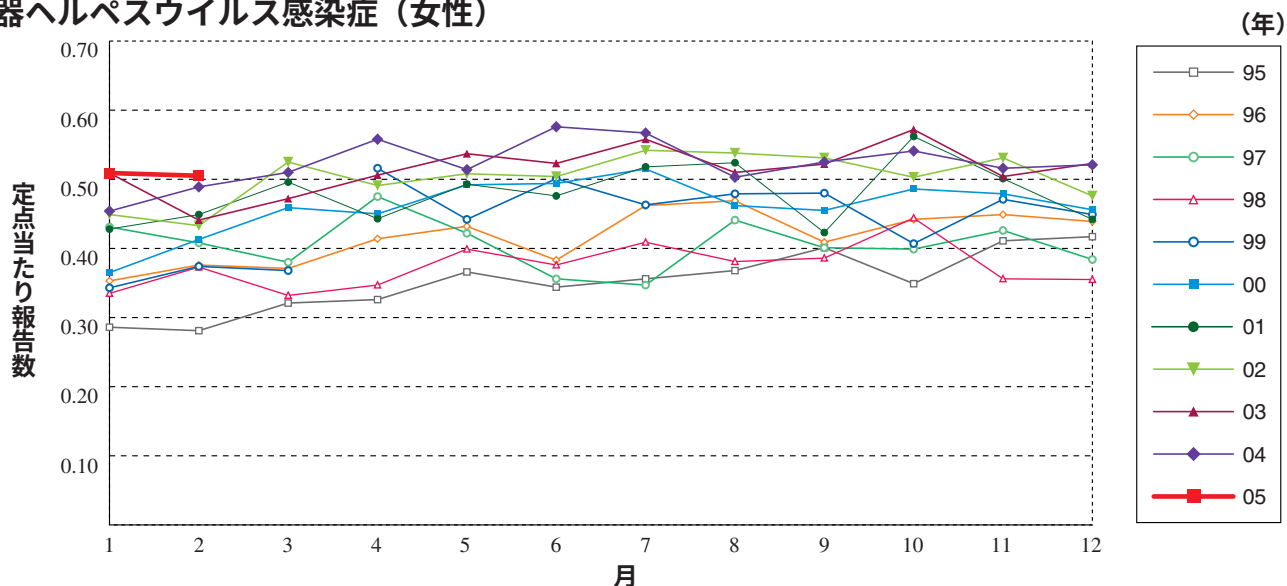
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



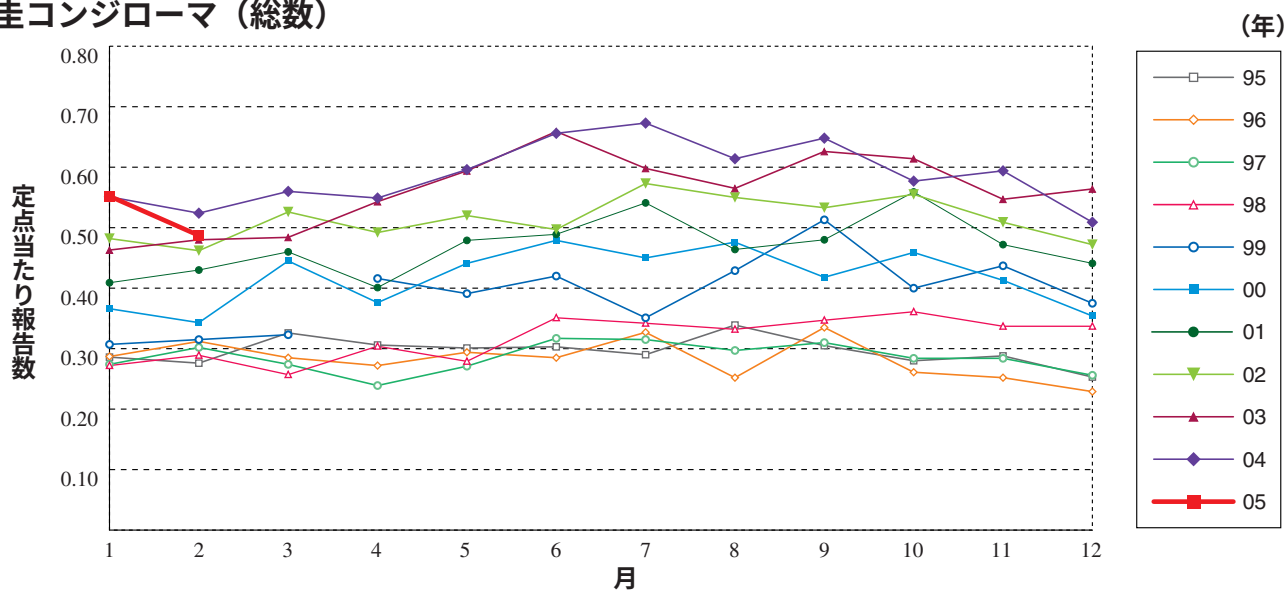
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



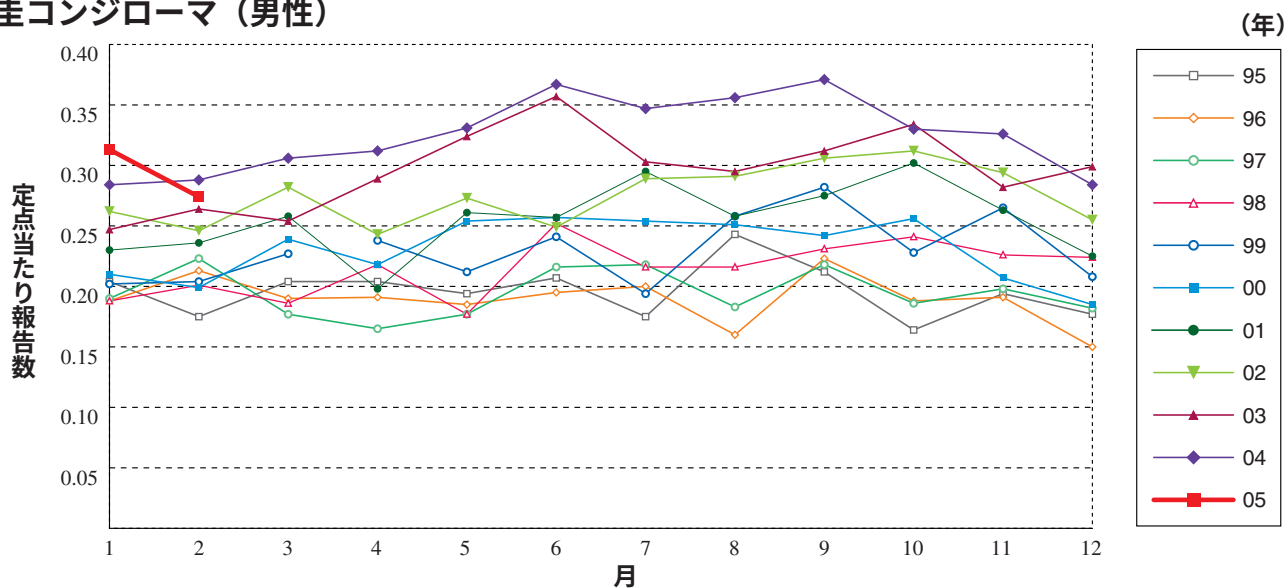
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



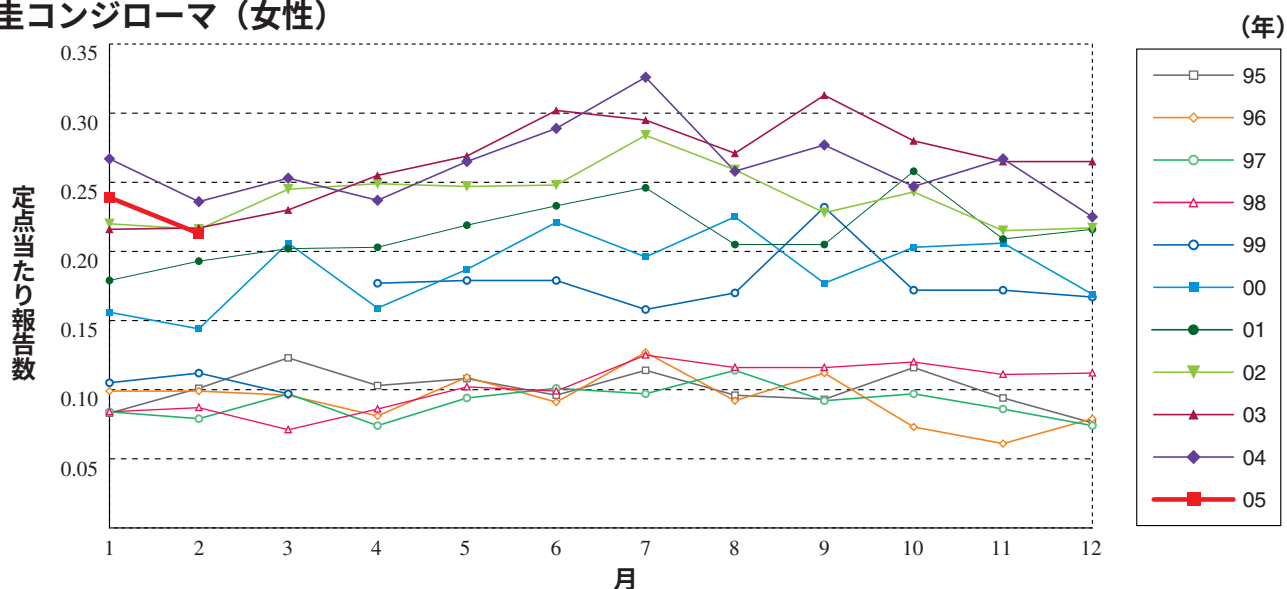
尖圭コンジローマ（総数）



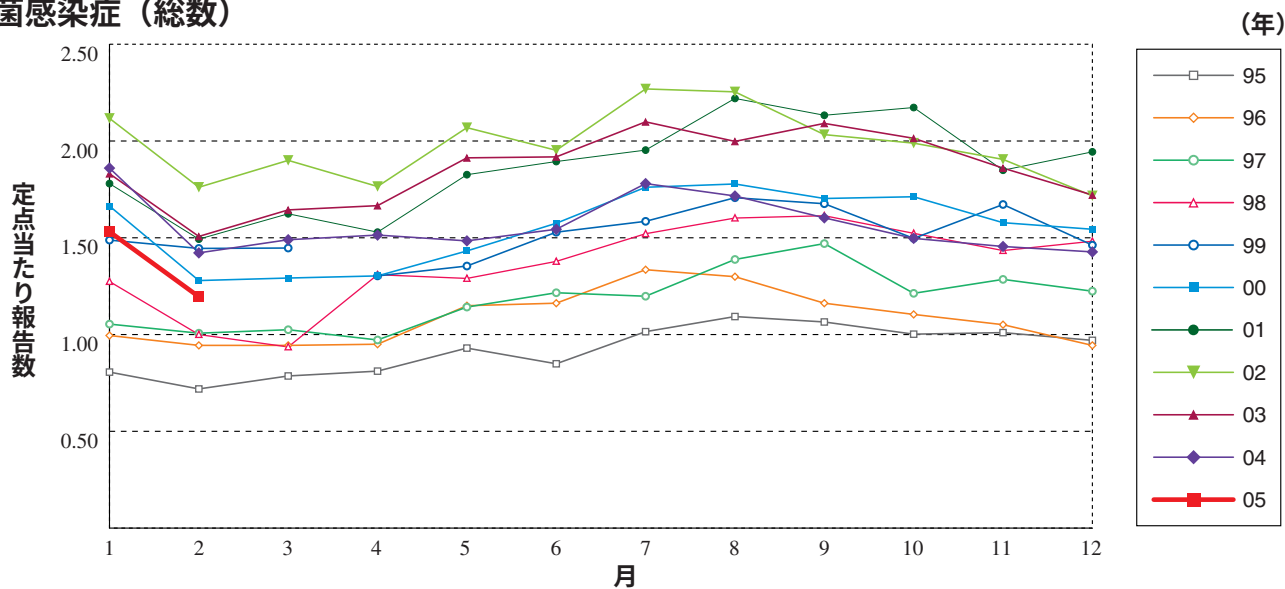
尖圭コンジローマ（男性）



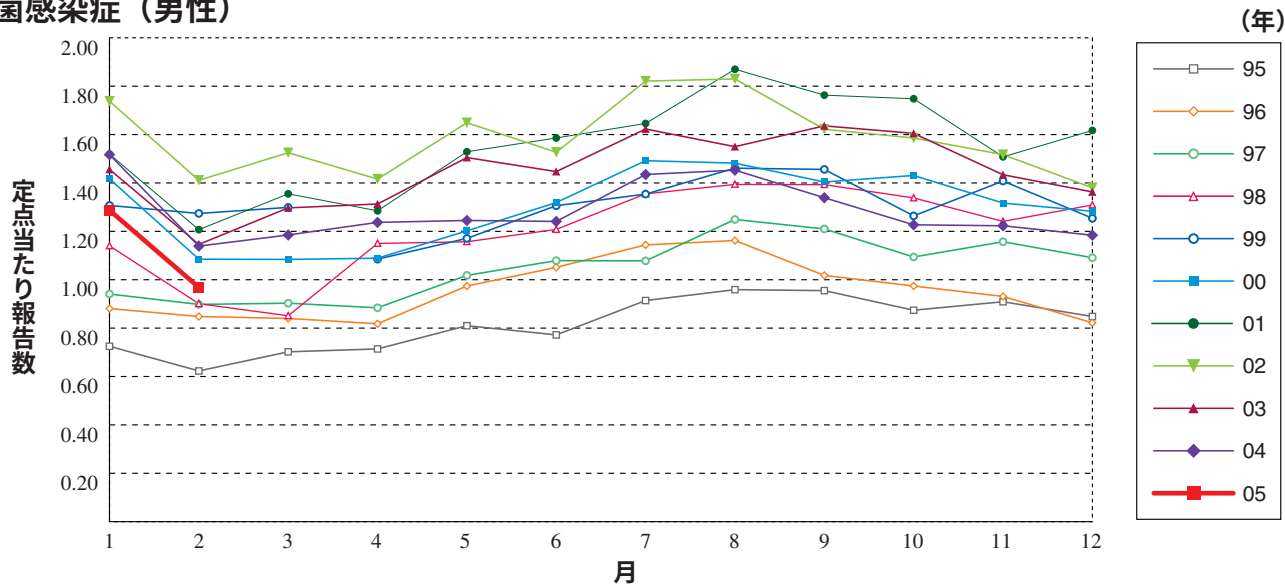
尖圭コンジローマ（女性）



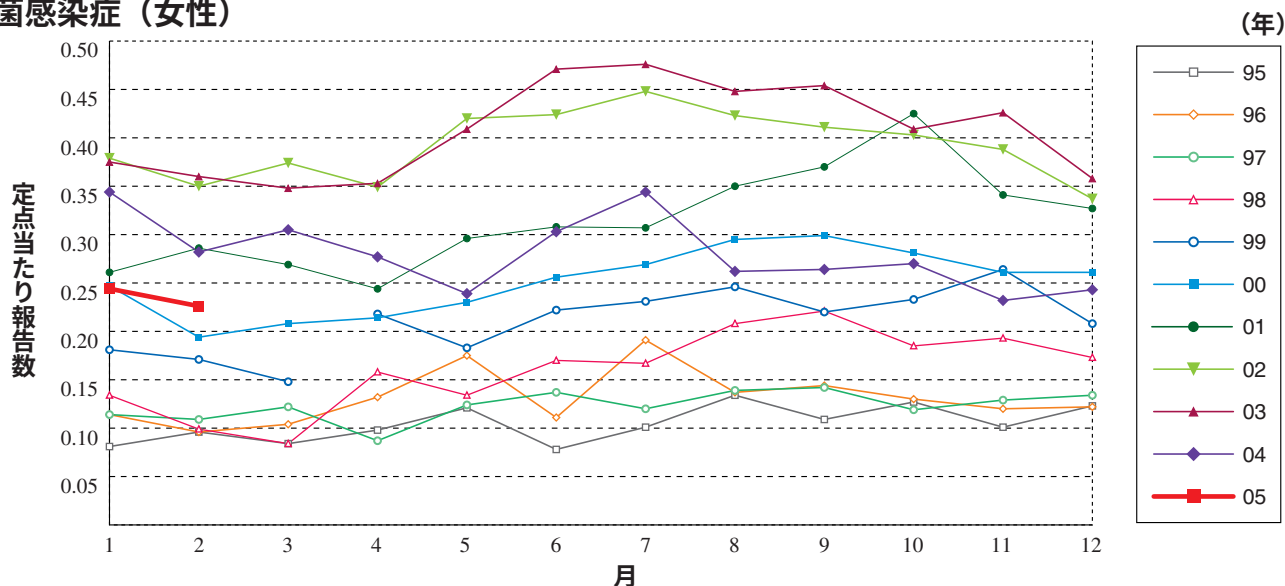
淋菌感染症 (総数)



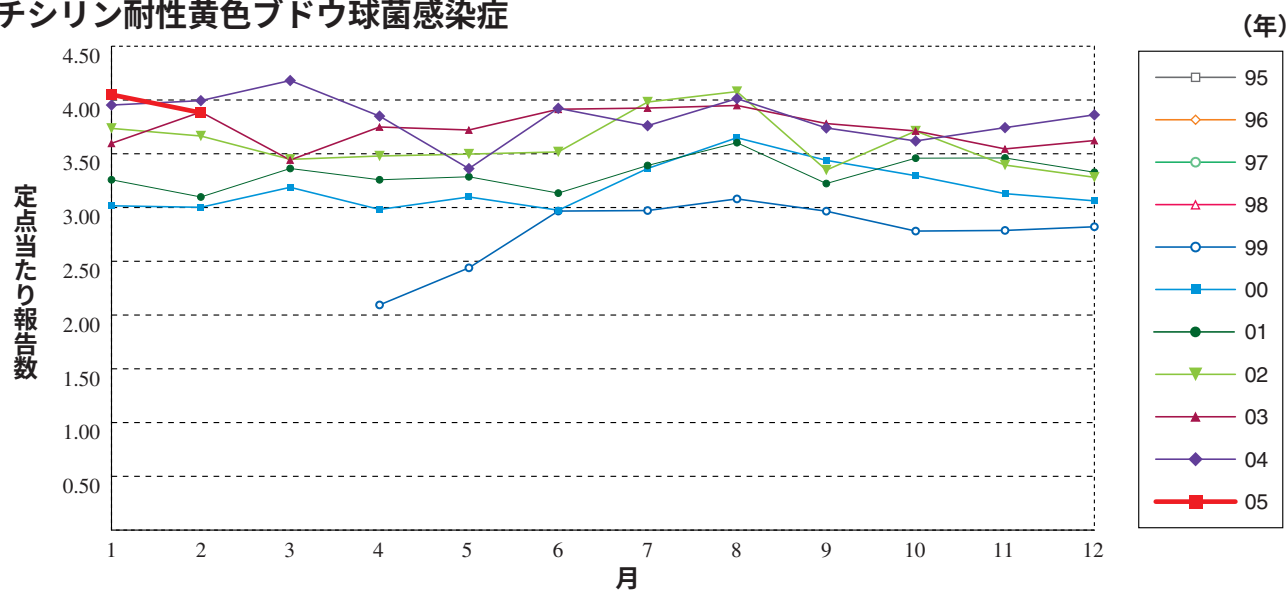
淋菌感染症 (男性)



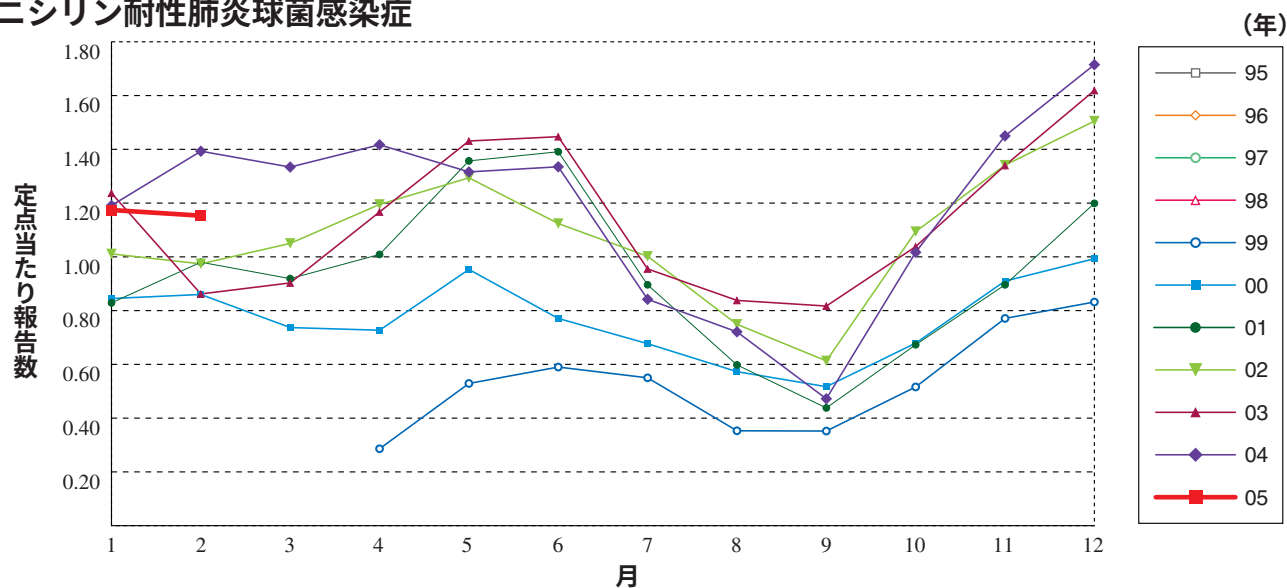
淋菌感染症 (女性)



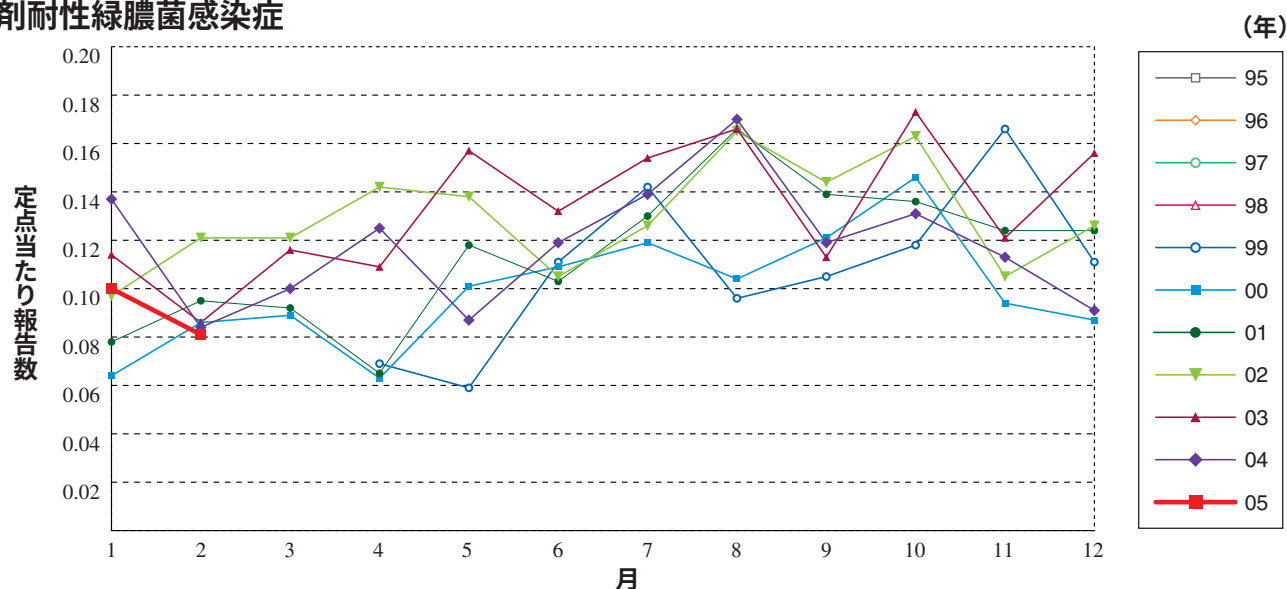
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症





2月のデータ

注) 3月14日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (総数)

平成17年2月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2610	2.84	777	0.84	448	0.49	1099	1.19	1824	3.88	542	1.15	38	0.08
北海道	238	5.67	50	1.19	30	0.71	57	1.36	37	1.54	8	0.33	2	0.08
青森県	41	3.15	7	0.54	8	0.62	14	1.08	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	31	2.38	6	0.46	8	0.62	17	1.31	101	5.05	10	0.50	4	0.20
宮城県	63	3.50	17	0.94	21	1.17	29	1.61	21	1.75	10	0.83	1	0.08
秋田県	27	1.93	6	0.43	1	0.07	22	1.57	23	2.88	4	0.50	-	-
山形県	23	2.30	3	0.30	2	0.20	11	1.10	42	4.20	11	1.10	1	0.10
福島県	48	3.00	8	0.50	17	1.06	22	1.38	10	1.43	2	0.29	1	0.14
茨城県	83	3.95	16	0.76	9	0.43	26	1.24	10	1.00	3	0.30	1	0.10
栃木県	36	2.25	20	1.25	11	0.69	17	1.06	55	7.86	9	1.29	-	-
群馬県	93	3.72	17	0.68	4	0.16	52	2.08	39	3.90	14	1.40	2	0.20
埼玉県	174	3.41	40	0.78	20	0.39	45	0.88	16	1.78	6	0.67	1	0.11
千葉県	111	2.92	22	0.58	12	0.32	24	0.63	52	5.78	89	9.89	-	-
東京都	160	3.90	62	1.51	40	0.98	84	2.05	136	5.44	43	1.72	1	0.04
神奈川県	115	1.95	34	0.58	14	0.24	54	0.92	21	1.91	39	3.55	-	-
新潟県	15	0.79	12	0.63	7	0.37	23	1.21	63	4.85	8	0.62	1	0.08
富山県	21	3.00	3	0.43	3	0.43	5	0.71	35	7.00	18	3.60	1	0.20
石川県	17	1.70	9	0.90	-	-	6	0.60	22	4.40	1	0.20	2	0.40
福井県	8	1.60	3	0.60	4	0.80	4	0.80	33	5.50	9	1.50	-	-
山梨県	7	1.17	2	0.33	-	-	2	0.33	17	1.70	15	1.50	1	0.10
長野県	45	2.81	5	0.31	5	0.31	7	0.44	23	2.09	6	0.55	-	-
岐阜県	23	1.53	3	0.20	4	0.27	19	1.27	17	3.40	-	-	-	-
静岡県	71	2.37	18	0.60	12	0.40	15	0.50	67	6.70	18	1.80	-	-
愛知県	114	2.24	28	0.55	34	0.67	96	1.88	95	7.31	-	-	2	0.15
三重県	21	1.40	4	0.27	3	0.20	7	0.47	52	5.78	-	-	-	-
滋賀県	10	1.11	-	-	1	0.11	3	0.33	33	4.71	1	0.14	-	-
京都府	40	1.90	15	0.71	4	0.19	10	0.48	12	1.71	-	-	-	-
大阪府	241	4.08	154	2.61	66	1.12	112	1.90	35	2.50	5	0.36	3	0.21
兵庫県	95	2.02	46	0.98	25	0.53	40	0.85	24	1.85	1	0.08	-	-
奈良県	22	2.44	-	-	-	-	9	1.00	41	6.83	6	1.00	3	0.50
和歌山県	11	1.38	-	-	2	0.25	5	0.63	41	3.73	3	0.27	1	0.09
鳥取県	11	2.20	-	-	1	0.20	4	0.80	24	4.80	5	1.00	2	0.40
島根県	12	2.00	1	0.17	3	0.50	7	1.17	50	6.25	14	1.75	-	-
岡山県	59	3.47	14	0.82	14	0.82	27	1.59	8	1.60	1	0.20	-	-
広島県	39	1.44	13	0.48	11	0.41	10	0.37	93	4.43	45	2.14	3	0.14
山口県	29	2.42	10	0.83	5	0.42	11	0.92	77	8.56	25	2.78	-	-
徳島県	10	1.67	4	0.67	3	0.50	3	0.50	11	1.57	1	0.14	-	-
香川県	24	3.43	8	1.14	7	1.00	10	1.43	30	7.50	2	0.50	-	-
愛媛県	21	1.91	7	0.64	6	0.55	9	0.82	18	3.00	2	0.33	-	-
高知県	2	0.33	-	-	1	0.17	2	0.33	61	8.71	39	5.57	1	0.14
福岡県	163	4.18	38	0.97	13	0.33	81	2.08	56	3.50	9	0.56	-	-
佐賀県	22	3.14	9	1.29	-	-	9	1.29	20	3.33	15	2.50	-	-
長崎県	32	3.20	10	1.00	3	0.30	13	1.30	7	0.58	1	0.08	-	-
熊本県	60	4.29	11	0.79	5	0.36	18	1.29	60	4.00	6	0.40	1	0.07
大分県	7	0.70	11	1.10	-	-	6	0.60	45	4.50	22	2.20	1	0.10
宮崎県	25	2.27	6	0.55	2	0.18	12	1.09	33	4.71	4	0.57	1	0.14
鹿児島県	47	2.94	20	1.25	2	0.13	27	1.69	15	1.25	5	0.42	1	0.08
沖縄県	43	3.58	5	0.42	5	0.42	13	1.08	39	5.57	7	1.00	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成17年2月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1068	1.16	312	0.34	252	0.27	891	0.97	1152	2.45	315	0.67	26	0.06
北海道	43	1.02	5	0.12	14	0.33	32	0.76	31	1.29	5	0.21	2	0.08
青森県	12	0.92	5	0.38	6	0.46	8	0.62	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	12	0.92	3	0.23	6	0.46	15	1.15	61	3.05	8	0.40	3	0.15
宮城県	27	1.50	7	0.39	9	0.50	26	1.44	16	1.33	6	0.50	1	0.08
秋田県	11	0.79	2	0.14	1	0.07	17	1.21	14	1.75	2	0.25	-	-
山形県	13	1.30	-	-	1	0.10	7	0.70	27	2.70	6	0.60	-	-
福島県	16	1.00	1	0.06	3	0.19	17	1.06	7	1.00	2	0.29	1	0.14
茨城県	33	1.57	6	0.29	2	0.10	21	1.00	7	0.70	2	0.20	1	0.10
栃木県	19	1.19	16	1.00	8	0.50	17	1.06	37	5.29	2	0.29	-	-
群馬県	54	2.16	5	0.20	2	0.08	46	1.84	23	2.30	2	0.20	1	0.10
埼玉県	58	1.14	14	0.27	10	0.20	40	0.78	9	1.00	4	0.44	1	0.11
千葉県	41	1.08	5	0.13	6	0.16	19	0.50	35	3.89	56	6.22	-	-
東京都	79	1.93	23	0.56	27	0.66	64	1.56	90	3.60	23	0.92	1	0.04
神奈川県	68	1.15	19	0.32	12	0.20	53	0.90	14	1.27	24	2.18	-	-
新潟県	8	0.42	7	0.37	7	0.37	22	1.16	39	3.00	5	0.38	1	0.08
富山県	14	2.00	1	0.14	1	0.14	4	0.57	22	4.40	9	1.80	1	0.20
石川県	7	0.70	4	0.40	-	-	5	0.50	14	2.80	-	-	1	0.20
福井県	1	0.20	3	0.60	4	0.80	3	0.60	24	4.00	5	0.83	-	-
山梨県	2	0.33	-	-	-	-	2	0.33	10	1.00	8	0.80	-	-
長野県	18	1.13	3	0.19	-	-	7	0.44	16	1.45	2	0.18	-	-
岐阜県	17	1.13	2	0.13	3	0.20	19	1.27	14	2.80	-	-	-	-
静岡県	14	0.47	7	0.23	9	0.30	10	0.33	41	4.10	13	1.30	-	-
愛知県	75	1.47	17	0.33	15	0.29	79	1.55	66	5.08	-	-	1	0.08
三重県	9	0.60	3	0.20	3	0.20	6	0.40	39	4.33	-	-	-	-
滋賀県	3	0.33	-	-	1	0.11	2	0.22	17	2.43	-	-	-	-
京都府	4	0.19	-	-	-	-	9	0.43	9	1.29	-	-	-	-
大阪府	96	1.63	73	1.24	42	0.71	86	1.46	20	1.43	3	0.21	3	0.21
兵庫県	43	0.91	25	0.53	21	0.45	34	0.72	11	0.85	1	0.08	-	-
奈良県	15	1.67	-	-	-	-	8	0.89	26	4.33	6	1.00	3	0.50
和歌山県	5	0.63	-	-	2	0.25	5	0.63	22	2.00	3	0.27	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-	4	0.80	12	2.40	4	0.80	2	0.40
島根県	7	1.17	1	0.17	2	0.33	7	1.17	25	3.13	9	1.13	-	-
岡山県	17	1.00	3	0.18	3	0.18	22	1.29	6	1.20	-	-	-	-
広島県	13	0.48	4	0.15	4	0.15	8	0.30	63	3.00	25	1.19	-	-
山口県	10	0.83	1	0.08	2	0.17	8	0.67	59	6.56	16	1.78	-	-
徳島県	7	1.17	2	0.33	2	0.33	3	0.50	7	1.00	-	-	-	-
香川県	6	0.86	4	0.57	5	0.71	6	0.86	17	4.25	2	0.50	-	-
愛媛県	4	0.36	5	0.45	4	0.36	7	0.64	13	2.17	1	0.17	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	0.17	29	4.14	16	2.29	-	-
福岡県	84	2.15	16	0.41	7	0.18	70	1.79	29	1.81	8	0.50	-	-
佐賀県	15	2.14	2	0.29	-	-	9	1.29	15	2.50	13	2.17	-	-
長崎県	13	1.30	1	0.10	-	-	7	0.70	4	0.33	-	-	-	-
熊本県	18	1.29	2	0.14	3	0.21	11	0.79	30	2.00	3	0.20	1	0.07
大分県	5	0.50	1	0.10	-	-	4	0.40	26	2.60	13	1.30	-	-
宮崎県	15	1.36	3	0.27	1	0.09	12	1.09	18	2.57	2	0.29	1	0.14
鹿児島県	28	1.75	10	0.63	-	-	21	1.31	12	1.00	1	0.08	1	0.08
沖縄県	8	0.67	1	0.08	4	0.33	8	0.67	23	3.29	5	0.71	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成17年2月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1542	1.68	465	0.51	196	0.21	208	0.23	672	1.43	227	0.48	12	0.03
北海道	195	4.64	45	1.07	16	0.38	25	0.60	6	0.25	3	0.13	-	-
青森県	29	2.23	2	0.15	2	0.15	6	0.46	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	19	1.46	3	0.23	2	0.15	2	0.15	40	2.00	2	0.10	1	0.05
宮城県	36	2.00	10	0.56	12	0.67	3	0.17	5	0.42	4	0.33	-	-
秋田県	16	1.14	4	0.29	-	-	5	0.36	9	1.13	2	0.25	-	-
山形県	10	1.00	3	0.30	1	0.10	4	0.40	15	1.50	5	0.50	1	0.10
福島県	32	2.00	7	0.44	14	0.88	5	0.31	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	50	2.38	10	0.48	7	0.33	5	0.24	3	0.30	1	0.10	-	-
栃木県	17	1.06	4	0.25	3	0.19	-	-	18	2.57	7	1.00	-	-
群馬県	39	1.56	12	0.48	2	0.08	6	0.24	16	1.60	12	1.20	1	0.10
埼玉県	116	2.27	26	0.51	10	0.20	5	0.10	7	0.78	2	0.22	-	-
千葉県	70	1.84	17	0.45	6	0.16	5	0.13	17	1.89	33	3.67	-	-
東京都	81	1.98	39	0.95	13	0.32	20	0.49	46	1.84	20	0.80	-	-
神奈川県	47	0.80	15	0.25	2	0.03	1	0.02	7	0.64	15	1.36	-	-
新潟県	7	0.37	5	0.26	-	-	1	0.05	24	1.85	3	0.23	-	-
富山県	7	1.00	2	0.29	2	0.29	1	0.14	13	2.60	9	1.80	-	-
石川県	10	1.00	5	0.50	-	-	1	0.10	8	1.60	1	0.20	1	0.20
福井県	7	1.40	-	-	-	-	1	0.20	9	1.50	4	0.67	-	-
山梨県	5	0.83	2	0.33	-	-	-	-	7	0.70	7	0.70	1	0.10
長野県	27	1.69	2	0.13	5	0.31	-	-	7	0.64	4	0.36	-	-
岐阜県	6	0.40	1	0.07	1	0.07	-	-	3	0.60	-	-	-	-
静岡県	57	1.90	11	0.37	3	0.10	5	0.17	26	2.60	5	0.50	-	-
愛知県	39	0.76	11	0.22	19	0.37	17	0.33	29	2.23	-	-	1	0.08
三重県	12	0.80	1	0.07	-	-	1	0.07	13	1.44	-	-	-	-
滋賀県	7	0.78	-	-	-	-	1	0.11	16	2.29	1	0.14	-	-
京都府	36	1.71	15	0.71	4	0.19	1	0.05	3	0.43	-	-	-	-
大阪府	145	2.46	81	1.37	24	0.41	26	0.44	15	1.07	2	0.14	-	-
兵庫県	52	1.11	21	0.45	4	0.09	6	0.13	13	1.00	-	-	-	-
奈良県	7	0.78	-	-	-	-	1	0.11	15	2.50	-	-	-	-
和歌山県	6	0.75	-	-	-	-	-	-	19	1.73	-	-	1	0.09
鳥取県	10	2.00	-	-	1	0.20	-	-	12	2.40	1	0.20	-	-
島根県	5	0.83	-	-	1	0.17	-	-	25	3.13	5	0.63	-	-
岡山県	42	2.47	11	0.65	11	0.65	5	0.29	2	0.40	1	0.20	-	-
広島県	26	0.96	9	0.33	7	0.26	2	0.07	30	1.43	20	0.95	3	0.14
山口県	19	1.58	9	0.75	3	0.25	3	0.25	18	2.00	9	1.00	-	-
徳島県	3	0.50	2	0.33	1	0.17	-	-	4	0.57	1	0.14	-	-
香川県	18	2.57	4	0.57	2	0.29	4	0.57	13	3.25	-	-	-	-
愛媛県	17	1.55	2	0.18	2	0.18	2	0.18	5	0.83	1	0.17	-	-
高知県	2	0.33	-	-	1	0.17	1	0.17	32	4.57	23	3.29	1	0.14
福岡県	79	2.03	22	0.56	6	0.15	11	0.28	27	1.69	1	0.06	-	-
佐賀県	7	1.00	7	1.00	-	-	-	-	5	0.83	2	0.33	-	-
長崎県	19	1.90	9	0.90	3	0.30	6	0.60	3	0.25	1	0.08	-	-
熊本県	42	3.00	9	0.64	2	0.14	7	0.50	30	2.00	3	0.20	-	-
大分県	2	0.20	10	1.00	-	-	2	0.20	19	1.90	9	0.90	1	0.10
宮崎県	10	0.91	3	0.27	1	0.09	-	-	15	2.14	2	0.29	-	-
鹿児島県	19	1.19	10	0.63	2	0.13	6	0.38	3	0.25	4	0.33	-	-
沖縄県	35	2.92	4	0.33	1	0.08	5	0.42	16	2.29	2	0.29	-	-

注)3月28日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成17年2月

	結 核	
	報告数	
総 数	1975	
北海道	60	
青森県	20	
岩手県	17	
宮城県	16	
秋田県	13	
山形県	10	
福島県	27	
茨城県	27	
栃木県	28	
群馬県	14	
埼玉県	104	
千葉県	100	
東京都	234	
神奈川県	117	
新潟県	34	
富山県	9	
石川県	19	
福井県	11	
山梨県	4	
長野県	14	
岐阜県	43	
静岡県	59	
愛知県	120	
三重県	26	
滋賀県	14	
京都府	57	
大阪府	227	
兵庫県	102	
奈良県	26	
和歌山県	15	
鳥取県	8	
島根県	11	
岡山県	23	
広島県	34	
山口県	21	
徳島県	13	
香川県	16	
愛媛県	19	
高知県	4	
福岡県	89	
佐賀県	16	
長崎県	21	
熊本県	22	
大分県	15	
宮崎県	19	
鹿児島県	41	
沖縄県	36	



11週のデータ

注) 表中の報告数は3月24日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年11週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	8	130	2	12	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	8	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	2	-	1	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	42	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年11週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性 大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		回帰熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	13	124	7	131	-	5	-	-	-	14	-	-	2	74
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	5	37	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1	7	2	34	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	6	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	6	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
兵庫県	-	-	-	-	-	3	1	5	-	-	-	-	-	6	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年11週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	3	2	29	-	18	8	224	-	-	-	11	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	5	-	2	3	72	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	9	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	11	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	16	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	2	34	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年11週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	-	-	22	1	7	-	-	-	-	4	107	-	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1
東京都	-	1	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-	1	22	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	12	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年11週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症	ハンタウイルス 肺症候群	Bウイルス病	ブルセラ症	発しんチフス	マラリア	ライム病	レジオネラ症
	報告数 累積	報告数 累積	報告数 累積	報告数 累積	報告数 累積	報告数 累積	報告数 累積	報告数 累積
総 数	- 15	- -	- -	- -	- -	2 16	- -	3 25
北海道	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
青森県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
岩手県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
宮城県	- 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
秋田県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
山形県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 2
福島県	- -	- -	- -	- -	- -	- 1	- -	- 1
茨城県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
栃木県	- 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
群馬県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
埼玉県	- -	- -	- -	- -	- -	- 1	- -	- -
千葉県	- -	- -	- -	- -	- -	1 2	- -	1 1
東京都	- 4	- -	- -	- -	- -	1 3	- -	- 3
神奈川県	- 1	- -	- -	- -	- -	- 1	- -	- -
新潟県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
富山県	- 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 2
石川県	- 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
福井県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
山梨県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
長野県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
岐阜県	- 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
静岡県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 2
愛知県	- -	- -	- -	- -	- -	- 3	- -	- -
三重県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
滋賀県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
京都府	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
大阪府	- 2	- -	- -	- -	- -	- 2	- -	- 1
兵庫県	- 1	- -	- -	- -	- -	- 1	- -	- 1
奈良県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
和歌山県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
鳥取県	- -	- -	- -	- -	- -	- 1	- -	- -
島根県	- 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
岡山県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 2
広島県	- 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
山口県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
徳島県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
香川県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
愛媛県	- -	- -	- -	- -	- -	- 1	- -	- -
高知県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
福岡県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
佐賀県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
長崎県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
熊本県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
大分県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
宮崎県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
鹿児島県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
沖縄県	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年11週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニパウイルス 感染症		ボツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	11	-	-	2	48	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年11週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	2	57	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」→「ボツリヌス症」、定点疾患「急性脳炎」→全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」、「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注) 表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年11週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	143993	30.64	385	0.13	4048	1.33	19996	6.56	4892	1.61	464	0.15	637	0.21	1607	0.53	13	0.00
北海道	9919	43.31	18	0.12	363	2.50	356	2.46	205	1.41	8	0.06	23	0.16	59	0.41	-	-
青森県	3163	48.66	2	0.05	53	1.26	196	4.67	69	1.64	6	0.14	11	0.26	18	0.43	-	-
岩手県	2900	46.77	2	0.05	14	0.38	186	5.03	66	1.78	15	0.41	16	0.43	19	0.51	-	-
宮城県	4319	43.63	3	0.05	121	1.98	407	6.67	88	1.44	16	0.26	26	0.43	35	0.57	-	-
秋田県	3946	71.75	19	0.54	47	1.34	229	6.54	57	1.63	-	-	5	0.14	16	0.46	-	-
山形県	2394	49.88	2	0.07	131	4.37	193	6.43	51	1.70	2	0.07	9	0.30	17	0.57	-	-
福島県	3066	38.33	14	0.29	58	1.21	427	8.90	79	1.65	2	0.04	26	0.54	31	0.65	-	-
茨城県	2340	19.83	14	0.19	78	1.05	247	3.34	73	0.99	2	0.03	5	0.07	26	0.35	-	-
栃木県	1528	21.83	-	-	42	0.91	153	3.33	38	0.83	2	0.04	5	0.11	17	0.37	1	0.02
群馬県	2347	23.47	1	0.02	95	1.53	313	5.05	73	1.18	9	0.15	2	0.03	34	0.55	-	-
埼玉県	4739	18.58	11	0.07	254	1.60	1291	8.12	242	1.52	10	0.06	19	0.12	92	0.58	-	-
千葉県	3754	17.71	8	0.06	195	1.46	643	4.80	201	1.50	9	0.07	34	0.25	59	0.44	1	0.01
東京都	2212	12.43	20	0.14	147	1.04	783	5.51	105	0.74	8	0.06	26	0.18	67	0.47	-	-
神奈川県	6026	17.99	30	0.15	238	1.16	1245	6.04	259	1.26	35	0.17	54	0.26	134	0.65	-	-
新潟県	4801	48.49	12	0.20	120	2.00	297	4.95	112	1.87	7	0.12	7	0.12	35	0.58	-	-
富山県	2076	43.25	5	0.17	57	1.97	241	8.31	50	1.72	6	0.21	13	0.45	22	0.76	-	-
石川県	1903	39.65	7	0.24	91	3.14	322	11.10	56	1.93	6	0.21	3	0.10	13	0.45	-	-
福井県	2013	62.91	8	0.36	40	1.82	266	12.09	39	1.77	2	0.09	9	0.41	10	0.45	-	-
山梨県	719	17.54	-	-	24	0.96	94	3.76	21	0.84	4	0.16	8	0.32	10	0.40	-	-
長野県	4518	51.34	1	0.02	75	1.36	376	6.84	81	1.47	6	0.11	7	0.13	26	0.47	-	-
岐阜県	2125	25.30	10	0.19	35	0.66	173	3.26	38	0.72	4	0.08	4	0.08	9	0.17	-	-
静岡県	3959	28.90	11	0.13	91	1.06	662	7.70	202	2.35	17	0.20	13	0.15	67	0.78	-	-
愛知県	7190	36.87	26	0.14	155	0.85	855	4.70	220	1.21	7	0.04	10	0.05	79	0.43	2	0.01
三重県	1969	26.97	17	0.38	38	0.84	512	11.38	86	1.91	4	0.09	5	0.11	35	0.78	-	-
滋賀県	1431	28.06	-	-	12	0.36	176	5.33	54	1.64	-	-	1	0.03	13	0.39	-	-
京都府	2631	21.74	-	-	45	0.60	370	4.93	103	1.37	15	0.20	5	0.07	17	0.23	-	-
大阪府	5440	18.89	19	0.10	210	1.06	1071	5.41	205	1.04	36	0.18	34	0.17	107	0.54	3	0.02
兵庫県	5082	25.93	18	0.14	130	1.02	962	7.52	226	1.77	17	0.13	21	0.16	70	0.55	-	-
奈良県	1564	28.96	2	0.06	31	0.91	200	5.88	50	1.47	1	0.03	2	0.06	10	0.29	-	-
和歌山県	1585	31.70	2	0.06	24	0.77	218	7.03	45	1.45	32	1.03	10	0.32	12	0.39	-	-
鳥取県	867	29.90	-	-	27	1.42	167	8.79	38	2.00	4	0.21	3	0.16	11	0.58	-	-
島根県	848	22.92	7	0.30	22	0.96	154	6.70	44	1.91	3	0.13	1	0.04	17	0.74	-	-
岡山県	2470	29.40	5	0.09	31	0.57	326	6.04	117	2.17	3	0.06	23	0.43	22	0.41	-	-
広島県	2984	25.08	14	0.19	91	1.23	600	8.11	80	1.08	14	0.19	14	0.19	31	0.42	2	0.03
山口県	2933	41.90	5	0.10	89	1.82	563	11.49	124	2.53	3	0.06	6	0.12	30	0.61	-	-
徳島県	1022	26.89	2	0.09	26	1.13	151	6.57	28	1.22	29	1.26	9	0.39	17	0.74	-	-
香川県	1647	32.29	1	0.03	18	0.56	195	6.09	66	2.06	14	0.44	4	0.13	20	0.63	-	-
愛媛県	3010	47.03	1	0.03	74	1.90	414	10.62	63	1.62	18	0.46	5	0.13	29	0.74	-	-
高知県	1857	37.90	1	0.03	78	2.52	176	5.68	28	0.90	14	0.45	4	0.13	9	0.29	-	-
福岡県	6323	31.93	25	0.21	257	2.14	1270	10.58	326	2.72	29	0.24	72	0.60	123	1.03	2	0.02
佐賀県	962	27.49	5	0.22	42	1.83	192	8.35	49	2.13	6	0.26	18	0.78	16	0.70	-	-
長崎県	2887	42.46	4	0.09	34	0.77	337	7.66	84	1.91	2	0.05	3	0.07	18	0.41	-	-
熊本県	3108	38.85	7	0.15	61	1.27	439	9.15	79	1.65	1	0.02	11	0.23	30	0.63	2	0.04
大分県	2359	40.67	-	-	59	1.64	399	11.08	118	3.28	4	0.11	21	0.58	18	0.50	-	-
宮崎県	2040	35.17	17	0.49	59	1.69	609	17.40	149	4.26	11	0.31	6	0.17	25	0.71	-	-
鹿児島県	2978	32.02	9	0.16	49	0.88	501	8.95	137	2.45	8	0.14	24	0.43	27	0.48	-	-
沖縄県	4039	69.64	-	-	17	0.50	39	1.15	168	4.94	13	0.38	-	-	5	0.15	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年11週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	17	0.01	151	0.05	10	0.00	2927	0.96	10	0.02	408	0.64	4	0.01	10	0.02	115	0.24
北海道	1	0.01	1	0.01	4	0.03	61	0.42	-	-	7	0.24	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	21	0.50	-	-	5	0.45	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	-	-	-	-	10	0.27	-	-	8	0.67	-	-	-	-	8	0.40
宮城県	-	-	-	-	-	-	24	0.39	-	-	7	0.58	-	-	-	-	2	0.17
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	0.06	1	0.14	5	0.71	-	-	-	-	2	0.25
山形県	-	-	-	-	-	-	56	1.87	-	-	3	0.38	-	-	2	0.20	6	0.60
福島県	-	-	-	-	-	-	36	0.75	-	-	11	0.92	-	-	-	-	5	0.71
茨城県	-	-	1	0.01	-	-	30	0.41	-	-	27	1.69	-	-	-	-	1	0.09
栃木県	-	-	3	0.07	-	-	15	0.33	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	5	0.08	-	-	31	0.50	-	-	25	1.79	-	-	1	0.10	13	1.30
埼玉県	4	0.03	5	0.03	-	-	167	1.05	2	0.06	22	0.61	2	0.22	-	-	3	0.33
千葉県	-	-	2	0.01	-	-	154	1.15	2	0.06	29	0.88	-	-	-	-	1	0.11
東京都	-	-	3	0.02	1	0.01	90	0.63	-	-	16	1.14	-	-	3	0.12	1	0.04
神奈川県	1	0.00	6	0.03	-	-	196	0.95	-	-	27	0.64	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	3	0.05	-	-	52	0.87	-	-	1	0.11	-	-	-	-	3	0.23
富山県	-	-	7	0.24	-	-	38	1.31	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	1	0.03	-	-	52	1.79	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	134	6.09	-	-	3	1.00	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	11	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.60
長野県	-	-	1	0.02	-	-	42	0.76	-	-	8	0.73	-	-	-	-	4	0.36
岐阜県	1	0.02	8	0.15	-	-	56	1.06	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	2	0.02	-	-	99	1.15	-	-	6	0.30	-	-	-	-	3	0.30
愛知県	-	-	2	0.01	-	-	177	0.97	-	-	10	0.29	-	-	-	-	6	0.46
三重県	-	-	-	-	-	-	43	0.96	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-	20	0.61	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	4	0.05	-	-	73	0.97	-	-	4	0.22	-	-	-	-	2	0.29
大阪府	4	0.02	8	0.04	-	-	128	0.65	3	0.06	6	0.12	-	-	-	-	4	0.29
兵庫県	2	0.02	3	0.02	-	-	73	0.57	-	-	21	0.60	-	-	1	0.08	-	-
奈良県	-	-	2	0.06	-	-	51	1.50	-	-	1	0.11	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	8	0.26	1	0.03	39	1.26	-	-	1	0.25	-	-	3	0.27	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-	3	0.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	2	0.09	-	-	3	0.13	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	6	0.11	-	-	23	0.43	-	-	19	1.58	-	-	-	-	9	1.80
広島県	-	-	-	-	1	0.01	102	1.38	-	-	13	0.65	1	0.05	-	-	3	0.16
山口県	-	-	1	0.02	-	-	43	0.88	1	0.11	2	0.22	-	-	-	-	11	1.22
徳島県	-	-	3	0.13	-	-	13	0.57	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	9	0.28	1	0.03	48	1.50	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	18	0.46	-	-	45	1.15	-	-	14	2.00	-	-	-	-	1	0.17
高知県	1	0.03	6	0.19	1	0.03	15	0.48	-	-	7	2.33	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	8	0.07	-	-	291	2.43	1	0.04	19	0.73	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	8	0.35	-	-	63	2.74	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.86
長崎県	-	-	-	-	-	-	52	1.18	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	8	0.17	-	-	106	2.21	-	-	20	2.22	-	-	-	-	3	0.20
大分県	-	-	2	0.06	-	-	38	1.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	0.06	-	-	49	1.40	-	-	8	2.00	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	3	0.05	1	0.02	37	0.66	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	15	0.44	-	-	5	0.50	-	-	-	-	2	0.29

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年11週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	5	0.01	-	-	48
北海道	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.11	-	-	-
東京都	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	...
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	4
兵庫県	-	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年11週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第7巻 第11号 平成17年4月1日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

＜国立感染症研究所 感染症情報センター＞

<http://www.mhlw.go.jp/>

＜厚生労働省＞

<http://www.forth.go.jp/>

＜旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。